

宮崎市文化財調査報告書第56集

北中遺跡Ⅲ

2003

宮崎市教育委員会

序

燦々と照りつける太陽、肥沃な台地、豊かな水に恵まれた宮崎市は、きわめて生活しやすい街であるといえます。その豊かな自然は今も昔もかわりなく、人々が連綿と築いてきた生活の歴史が発掘調査によって明らかとなってきています。

今年度は、史跡生目古墳群から出土した筒形器台が新聞というメディアで大きく報じられ、皆様の大きな関心をいただくことができました。また生目古墳群だけでなく、宮崎市教育委員会が近年取り組んでまいりました市内各地の遺跡の発掘調査の成果も市民の皆様にも速報展の形でご報告申し上げ、文化財や発掘調査に対するより一層のご理解を頂けたと自負しております。

本書は平成14年度に発掘調査を行いました北中遺跡Ⅲの文化財調査報告書であります。今回の調査では、古墳時代終末期を中心とした竪穴住居群を確認することができました。平成12年度調査の北中遺跡Ⅱで確認された地下式横穴墓とともに、当時の集落の様相を想起させる貴重な発掘調査の成果となりました。

最後になりましたが、発掘調査にあたって、ご理解とご協力をいただきました皆様をはじめ、ご指導、ご助言をいただいた方々、ならびに発掘調査に従事された作業員の皆様方に心からお礼を申し上げます。

平成15年3月

宮崎市教育委員会



教育長 内 藤 泰 夫

例 言

1. 本書は民間集合住宅建設工事にかかる、北中遺跡Ⅲの発掘調査報告書である。
2. 発掘調査は宮崎市教育委員会が平成14年6月2日から7月24日までの期間実施した。
3. 発掘調査により出土した遺物、調査における図面及び写真等は宮崎市教育委員会で保管している。

4. 調査組織

調査主体	宮崎市教育委員会	文化振興課
調査総括	課長	小 掠 聖
	係長	永 井 淳 生
	庶務担当	今 井 智 美
調査員	主任技師	稲 岡 洋 道
	技 師	宇 田 川 美 和
	嘱 託	河 野 賢 太 郎
		門 田 奈 津 子
整理担当	主任技師	稲 岡 洋 道
	嘱 託	河 野 賢 太 郎
		椎 由 美 子
		佐 藤 小 夜 子
	緒 方 吉 嗣	

5. 本書の執筆は、河野が行った。
6. 掲載図面の実測・製図・図版の作成は、稲岡・宇田川・河野・門田・椎・佐藤・緒方が分担して行った。
7. 現場での写真撮影は、稲岡・河野・門田が分担して行った。
8. 本書実測図中で使用した遺構略号は以下のとおりである。
SA 竪穴住居 SC 土坑 SE 溝状遺構 P ビット
9. 本書実測図中  は焼上、 は攪乱である。
10. 本書実測図中、破線は復元推定ラインである。
11. 本文中の遺構の深さはすべて検出面からの値である。
12. 報告書中の北はすべて磁北で、標高は海拔高である。

本文目次

第I章 はじめに	1
第1節 調査に至る経緯	1
第2節 立地と歴史的環境	1
第II章 調査の結果	7
第1節 調査の概要	7
第2節 竪穴住居	8
第3節 土坑	19
第4節 溝状遺構	20
第5節 出土遺物	22
第III章 まとめ	33
遺物観察表	35

挿図目次

第1図 周辺地図①	3
第2図 周辺地図②	4
第3図 北中遺跡Ⅲ遺構配置図	5~6
第4図 1号住居実測図	8
第5図 2号住居実測図	8
第6図 2号住居竪穴実測図	8
第7図 2号住居埋藏実測図	8
第8図 3号住居実測図	9
第9図 3号住居竪穴実測図	9
第10図 3号住居埋藏実測図	9
第11図 4号住居実測図	10
第12図 4号住居竪穴実測図	10
第13図 4号住居埋藏実測図	10
第14図 5号住居実測図	11
第15図 6号住居実測図	12
第16図 7号住居実測図	12
第17図 7号住居竪穴実測図	12
第18図 7号住居埋藏実測図	12

第19图	8号住居实测图	1 3
第20图	8号住居寢实测图	1 3
第21图	9号住居实测图	1 4
第22图	10号住居实测图	1 4
第23图	11号住居实测图	1 5
第24图	12号住居实测图	1 6
第25图	12号住居埋甕实测图	1 6
第26图	13号住居实测图	1 6
第27图	14号住居实测图	1 6
第28图	15号住居实测图	1 7
第29图	15号住居寢实测图	1 7
第30图	16号住居实测图	1 8
第31图	17号住居实测图	1 8
第32图	18号住居实测图	1 8
第33图	1号土坑实测图	1 9
第34图	2号土坑实测图	1 9
第35图	3号土坑实测图	1 9
第36图	3号沟状遺構实测图	2 0
第37图	4号沟状遺構实测图	2 1
第38图	1号住居出土遺物实测图(1)	2 3
第39图	1号住居出土遺物实测图(2)・2号住居出土遺物实测图	2 4
第40图	3号・4号住居出土遺物实测图	2 5
第41图	5号・6号住居出土遺物实测图	2 6
第42图	7号・8号・9号住居出土遺物实测图	2 7
第43图	10号住居出土遺物实测图1	2 8
第44图	10号住居出土遺物实测图2	2 9
第45图	11号~17号住居出土遺物实测图	3 0
第46图	18号住居・1号土坑・3号土坑・1~4号・7~9号沟状遺構出土遺物实测图	3 1
第47图	出土金属製品实测图	3 2

图 版 目 次

图版 1	4 3
fig 1. 1号住居完掘	
fig 2. 1号住居遺物出土狀況 1	
fig 3. 1号住居遺物出土狀況 2	

图版 2	4 4
fig 4. 2号住居完掘	
fig 5. 2号住居竈	
fig 6. 2号住居埋甕	
图版 3	4 5
fig 7. 3号住居完掘	
fig 8. 3号住居竈	
fig 9. 3号住居埋甕	
图版 4	4 6
fig10. 4号住居完掘	
fig11. 4号住居竈	
fig12. 4号住居埋甕	
图版 5	4 7
fig13. 5号住居完掘	
fig14. 5号住居遺物出土狀況	
fig15. 6号住居遺物出土狀況	
图版 6	4 8
fig16. 6号住居完掘	
fig17. 6号住居遺物出土狀況 1	
fig18. 6号住居遺物出土狀況 2	
图版 7	4 9
fig19. 7号住居完掘	
fig20. 7号住居竈	
fig21. 7号住居遺物出土狀況	
图版 8	5 0
fig22. 8号住居完掘	
fig23. 8号住居遺物出土狀況	
fig24. 8号住居竈	
图版 9	5 1
fig25. 9号・10号住居完掘	
fig26. 9号住居遺物出土狀況	
fig27. 9号・10号住居遺物出土狀況	
图版10	5 2
fig28. 10号住居遺物出土狀況 1	
fig29. 10号住居遺物出土狀況 2	
fig30. 10号住居遺物出土狀況 3	

図版11	5 3
fig31.	11号住居完掘	
fig32.	11号住居遺物出土状況 1	
fig33.	11号住居遺物出土状況 2	
図版12	5 4
fig34.	12号住居完掘	
fig35.	12号住居遺物出土状況	
fig36.	12号住居埋甕	
図版13	5 5
fig37.	13号住居完掘	
fig38.	13号住居遺物出土状況 1	
fig39.	13号住居遺物出土状況 2	
図版14	5 6
fig40.	14号住居完掘	
fig41.	15号住居完掘	
図版15	5 7
fig42.	15号住居竈 1	
fig43.	15号住居竈 2	
fig44.	16号住居完掘	
図版16	5 8
fig45.	17号住居完掘	
fig46.	18号住居完掘	
図版17	5 9
fig47.	1号土坑完掘	
fig48.	2号土坑遺物出土状況	
fig49.	3号土坑完掘	
図版18	6 0
fig50.	3号溝状遺構	
fig51.	4号溝状遺構	
fig52.	5号溝状遺構	
図版19	6 1
fig53.	7号溝状遺構	
fig54.	9号溝状遺構 (北から)	
fig55.	9号溝状遺構 (南から)	
遺物写真	6 2

第I章 はじめに

第1節 調査に至る経緯

平成14年5月9日付で[]より、宮崎市吉村町北中甲1235-6、1235-1、1236-1の一部について文化財の所在の有無照会が提出された。それを受けて市教育委員会は、開発予定地が周知の埋蔵文化財包蔵地である「柿本遺跡」*であることから、試掘調査が必要な旨を回答した。その後平成14年5月21日に試掘調査を実施した。

試掘調査において、設定した5本すべてのトレンチで遺構・遺物を確認できた。その後[]と協議を重ね、開発予定地2,000m²のうち約450m²に対し調査を実施し、その他については盛り土による遺構保存を行うものとして、平成14年6月2日から平成14年7月24日までの期間発掘調査を実施した。

第2節 立地と歴史的環境

北中遺跡は大淀川左岸沖積地の微高地上、標高約4mの地点に立地する。東に約1.3kmで一ツ葉入り江、南に約2.3kmで大淀川に至る。北300mを流れる新別府川を挟んで砂丘列に至る。

遺跡は微高地の北東の縁辺に立地し、北側の水田面との比高差は約1mである。本遺跡の立地する微高地は南方と西方に宮崎駅付近まで広がりがあり、西側は1m程高い。

当遺跡が立地する微高地上には、数多くの遺跡の存在が知られている。

南西約800mの微高地縁辺部には、平成8年に調査された大町遺跡が所在する。大町遺跡からは、弥生時代中期末～後期初頭の周溝状遺構、古墳時代後期の竪穴住居61軒、住居の床面から掘り込まれた地下式横穴墓3基が検出され、6世紀後半から7世紀初頭の集落が確認された。竪穴住居には埋甕炉や竈を付設したものがみられ、竪穴住居が屋外から埋甕炉の採用に至り、埋甕炉と竈の両方を付設したものに移行し、最終的に竈のみを付設するという変遷を遂げたことが指摘された。また、出土須恵器から6世紀末には竈が導入されていたことが明らかとなった。地下式横穴状遺構は3基とも同じ住居の床面から掘り込まれており、いずれも平入り楕円形プランを採用している。遺物は土師器の塊、埴上りⅡ形式段階の須恵器が出土している。(註1)

大町遺跡の西方300mには、平成8年に調査された古墳～平安時代の遺跡である宮脇遺跡が所在する。宮脇遺跡では溝状遺構8条が検出され、そのうちの1条から布痕土器が出土している。

宮脇遺跡の西方300mには、昭和52～54年と、平成4年の4次にわたって調査された浄土江遺跡が所在し、33軒の住居、数十条の溝状遺構が検出され、古墳時代後期から奈良時代にかけての土師器・須恵器が出土している。

この他、この微高地上には弥生～古墳時代の散布地である榎小学校遺跡・上無田堤遺跡・上西中遺跡・柿本遺跡・北中第2遺跡(旧北中遺跡)が所在し、さらに古墳時代の散布地として微高地上に中原遺跡・曾師遺跡、東側の低地に下敷遺跡・今村前遺跡・今村遺跡が所在する。(註2)

新別府川を挟んだ北側には下田島面群という海進海退の海成による低位の完新世段丘面群が一つ瀬川まで広がり、高位より下田島Ⅰ面からⅣ面の4面に区分されている。下田島Ⅰ面にあたる第1砂丘上には、古墳や多数の遺跡が存在し、そのうちのいくつかは発掘調査が行われている。

当遺跡の北西約800mには櫛遺跡が存在する。櫛遺跡は、日本考古学協会の弥生式土器文化総合研究特別委員会の事業として昭和31年から3次にわたる調査が行われ、弥生時代前期の積石墓9基、小児甕棺が出土した。

櫛遺跡の所在する櫛中学校の南には、未指定の前方後円墳である櫛1号墳（庵山古墳）が存在する。櫛1号墳は、平成12年から宮崎大学教育文化学部考古学研究室によって発掘調査が行われ、墳長約51m、前方部長17mを測る。前方部が異常に短い墳形で、左右非対称ではあるが前方部が前端に向かって大きく開き、後円部も正円ではなく倒卵形と見られることから、纏向型類型の特徴を備えることが確実となった。遺物は古墳に伴うと思われるものは出土していない。（註3）

櫛1号墳の東方500mには麓2号墳、その東側の低地には櫛古墳（消滅）・櫛3号墳が存在し、下原や村角・大島地区の古墳とともに櫛古墳群を構成している。これらは、平野部に築かれた古墳群として注目される。（註4）

櫛遺跡から北に400mの地点には、昭和62年に調査された江田原第1遺跡が存在する。江田原第1遺跡では、9世紀代の土師器や弥生時代の磨製石斧が出土している。（註5）

江田原第1遺跡の北東150mには、平成13年度に調査された江田原第3遺跡が存在する。江田原第3遺跡では5世紀後半の古墳の周溝が確認され、土師器の高坏や須恵器、攪乱土中ではあるが、直刀2振・鉄斧・鉈が出土している。

同じく江田原第1遺跡から西に350mの低地には、浮ノ城遺跡が存在する。浮ノ城遺跡では弥生時代の水田跡が検出された。水田跡は、櫛遺跡から北東へ約750m、第1砂丘を越えた東側の低地にある櫛北小学校校庭遺跡でも確認され、奈良時代の土師器が出土している。

この他、第1砂丘南端の低地には麓第1遺跡・麓第2遺跡といった、古墳時代の散布地が存在する。

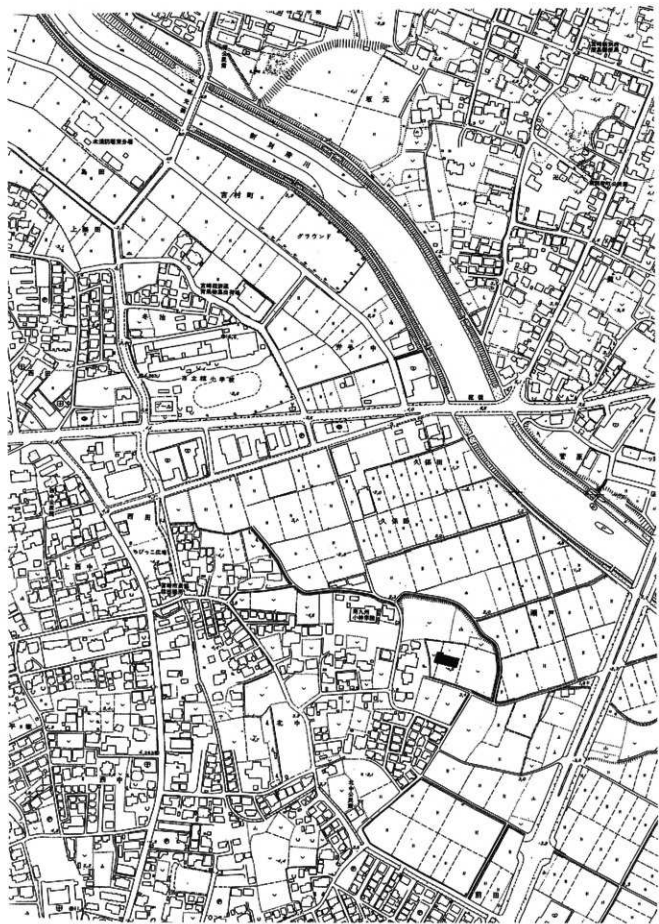
註

- 1 宮崎市教育委員会「大町遺跡」『宮崎市文化財調査報告書』第33集 1998
 - 2 宮崎市教育委員会「宮崎市遺跡等詳細分布調査報告書Ⅱ（リポート地区を中心として）」1990
 - 3 九州前方後円墳研究会「九前研通信」第7号 2001
 - 4 宮崎県「宮崎県史」資料編・考古2 1993
 - 5 宮崎市教育委員会「柿木原地下式横穴墓56-1号 江田原第1遺跡」『宮崎市文化財調査報告書』1989
- ※ もとは、柿木遺跡として扱っていたが、本調査では、隣接する北中遺跡と一体と見られることから、北中遺跡とした。

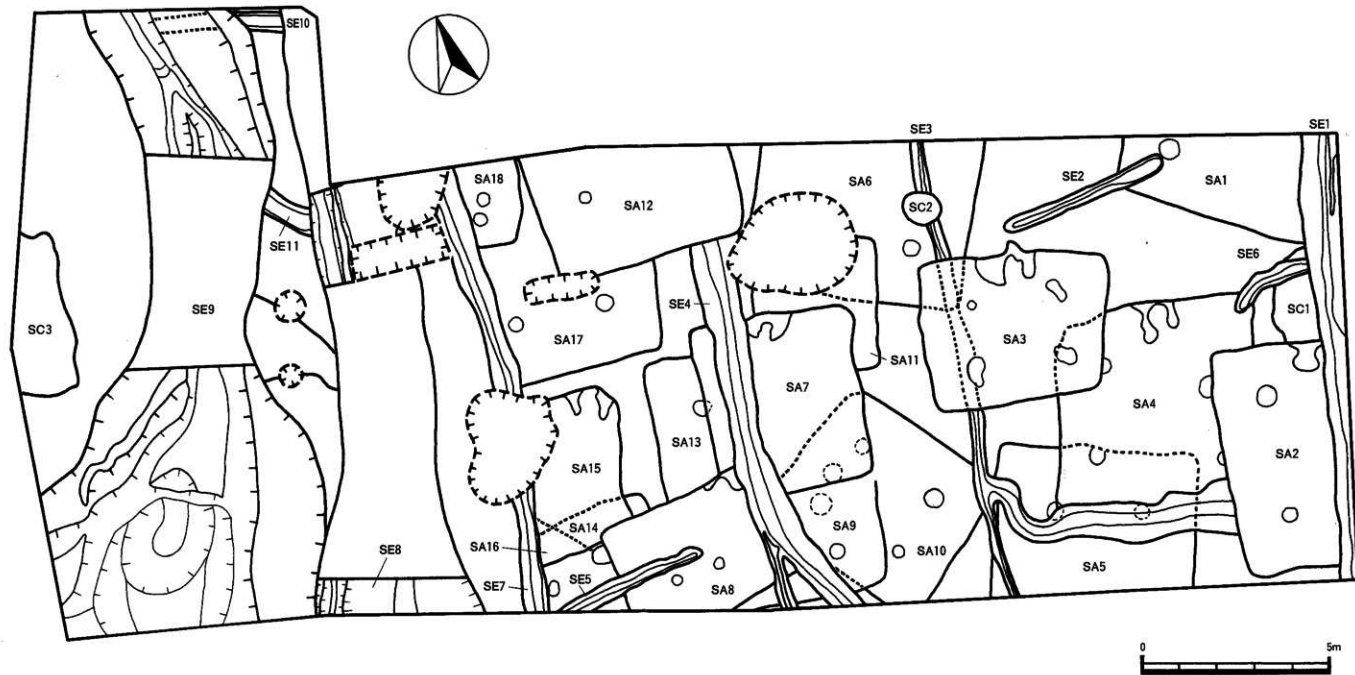


- | | | | |
|----------|----------|--------------|-----------|
| 1 北中遺跡 | 6 櫛1号墳 | 11 江田源第2遺跡 | 16 平原第2遺跡 |
| 2 大可遺跡 | 7 櫛遺跡 | 12 江田源第1遺跡 | 17 平原第1遺跡 |
| 3 富脇遺跡 | 8 櫛2号墳 | 13 江田源第3遺跡 | 18 大島9号墳 |
| 4 浄土江遺跡 | 9 櫛古墳 | 14 櫛北小学校校庭遺跡 | 19 萩崎第2遺跡 |
| 5 櫛小学校遺跡 | 10 浮之城遺跡 | 15 櫛3号墳 | 20 猿野遺跡 |

第1図 周辺地図① (1/25,000)



第2图 周边地图②



第3圖 北中遺跡Ⅱ遺構配置圖

第Ⅱ章 調査の結果

第1節 調査の概要

今年度調査区の北側に隣接して過去2回の調査を行っている。平成10年度調査「北中遺跡」では、古墳時代前期末から中期初頭の堅穴住居1軒、堅穴状遺構2基、土坑2基、近世の土坑墓3基、溝状遺構12条を検出し、平成12年調査「北中遺跡Ⅱ」では、古墳時代中期から後期に比定される堅穴住居16軒、TK43～TK209頃の地下式横穴墓10基、溝状遺構10条、ピット数基を検出した。調査された16軒の堅穴住居のうち、埋甕炉を持つものは3軒で竈を付設した住居は確認されていない。埋甕炉をもつ3軒のうち、11号・12号住居の埋甕は丸底を呈し、7号住居の埋甕は底部に木葉痕を持つ平底を呈し、長胴で粘土輪積の跡も観察される。このことから11号および12号住居は7号住居に先行し、平成12年度調査区では7号住居が最も新しい住居であると考えられる。

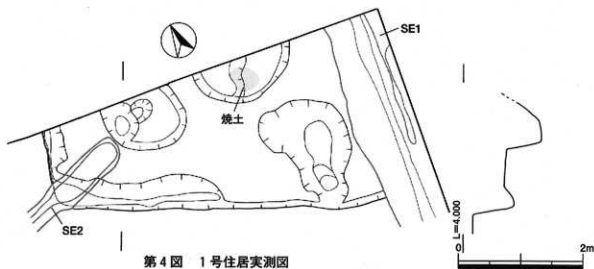
また地下式横穴墓は妻入り型が3基、平入り型が5基、プラン不明が2基である。中でも最も大型でまとまった副葬品が出土した6号地下式横穴墓は、ある程度の権力者の墓と考えられる。北中遺跡の地下式横穴墓には、住居の壁面を利用して堅坑を掘り込む工法を採用している例も3基見られるが、同様の例は大町遺跡にあるのみである。

今回の調査において、堅穴住居18軒・溝状遺構11条・土坑5基を検出した。検出した堅穴住居のうち、6軒では竈の敷設を確認し、うち4軒が埋甕炉と共存している。埋甕炉のみをもつ住居も1軒確認した。

基本層序はⅠ層表土よりⅡ層明褐色土・Ⅲ層灰白砂・Ⅳ層灰褐色粘土・Ⅴ層灰白砂・Ⅵ層灰褐色粘土・Ⅶ層青灰砂（大小の礫、鉄分を多く含む）・Ⅷ層青灰砂・Ⅸ層青砂・Ⅹ層灰砂である。遺構検出はⅡ層露出面で行った。Ⅲ層からⅥ層は互層となっている。

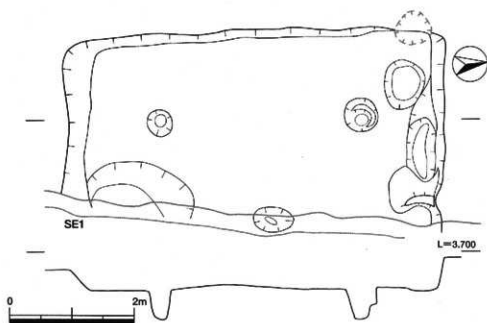
第2節 竪穴住居

1号住居	規模 m			施設				
	長	短	深	柱穴	竈	埋甕	壁帯溝	土坑
	-	-	0.49	1	-	-	○	2
重複関係	SE1、SE2に先出する							
出土遺物	土師器：甕1-7、壺8-12、高坏13-18、坏19-22 須恵器：甕23 土師24 石器：25・26 鉄器：27-29							
特記事項	壁帯溝は、西南壁							

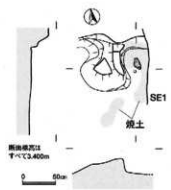


第4図 1号住居実測図

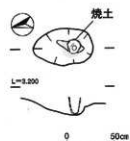
2号住居	規模 m			施設				
	長	短	深	柱穴	竈	埋甕	壁帯溝	土坑
	6	-	0.6	2	○	○	○	-
重複関係	SA4に先出し、SE3に後出する							
出土遺物	土師器：甕30-36、壺37、高坏38・39、坏40・41・42 石器：43・44 鉄器：45・46							
特記事項	壁帯溝は、北壁							



第5図 2号住居実測図

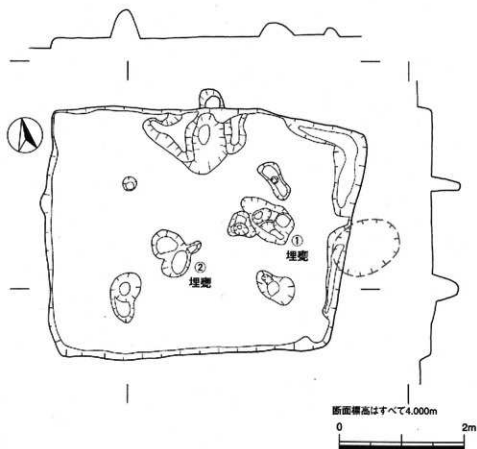


第6図 2号住居竈実測図

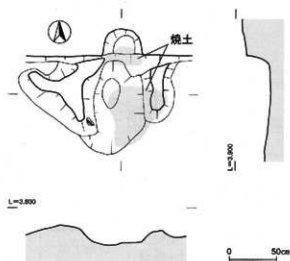


第7図 2号住居埋甕実測図

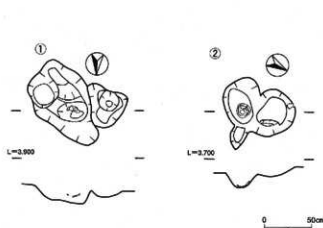
3号住居	規模 m			施設				
	長	短	深	柱穴	竈	埋甕	壁帯溝	土坑
重複関係	5	3.9	0.22	4	○	2	○	×
出土遺物	土師器：甕47-49、壺50、高坏51、坏52 須恵器：高坏53、甕54							
特記事項	壁帯溝は、北、東壁							



第8図 3号住居実測図

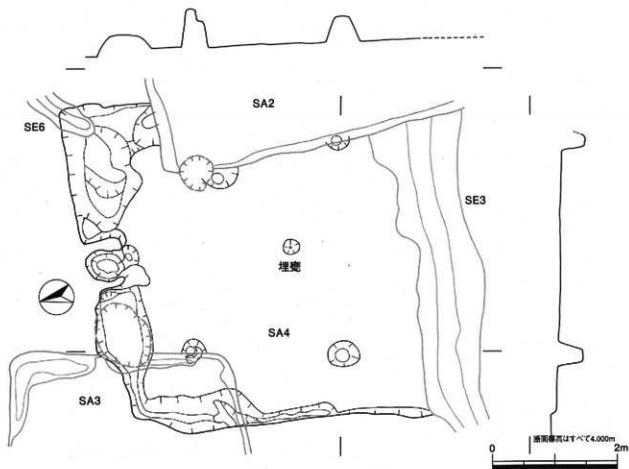


第9図 3号住居竈実測図

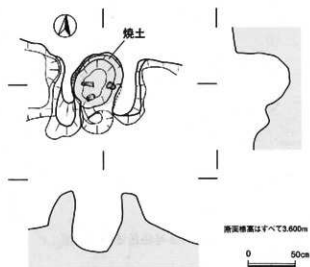


第10図 3号住居埋甕実測図

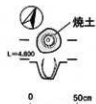
4号住居	規模 m			施設				
	長	短	深	柱穴	竈	埋甕	壁帯溝	土坑
	5.3	-	0.3	4	○	○	○	1
重複関係	SA2、SA3、SE6に先出し、SA5に後出する							
出土遺物	土師器：甕55-57、坏58-64、石器：65・66							
特記事項	壁帯溝は、北、西、北東隅 遺物56は埋甕							



第11図 4号住居実測図

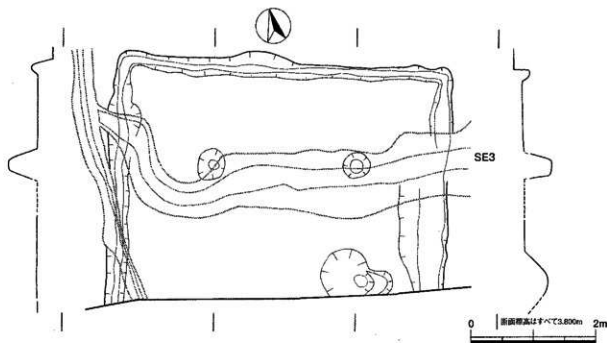


第12図 4号住居竈実測図



第13図 4号住居埋甕実測図

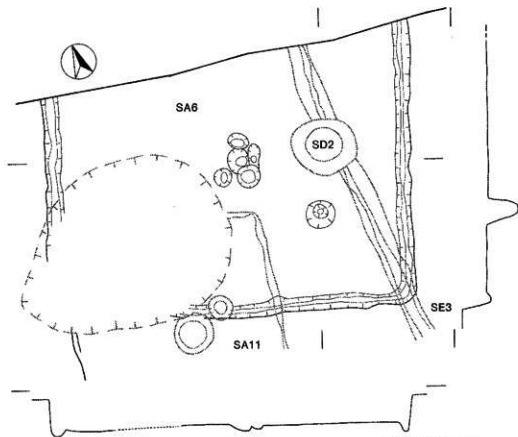
5号住居	規模 m			施設				
	長	短	深	柱穴	竈	埋窆	壁帯溝	土坑
	5.3	-	0.25	2	×	×	○	1
重複関係	SA4、SA5、SE3に先出する							
出土遺物	土師器：甕67・68、鉢69、高坏70・71、坏72・73 須恵器：甕74 石器：75・76							
特記事項	壁帯溝は、北、西、東壁							



第14図 5号住居実測図

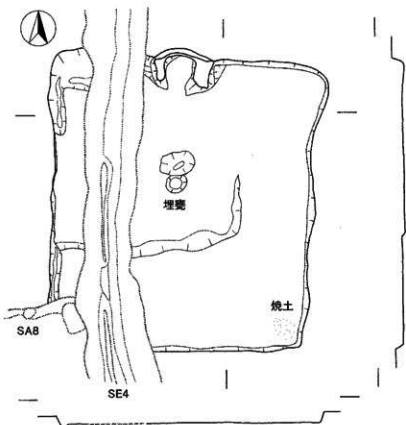
6号住居	規模 m			施設				
	長	短	深	柱穴	竈	埋窆	壁帯溝	土坑
	5.8	-		1	×	-	○	1
重複関係	SA11、SE3、SC3に先出する							
出土遺物	土師器：甕77-79、壺80・81、高坏82-84、坏85-87、土鉢88 石器：89							
特記事項	壁帯溝は、西、南、東壁							

7号住居	規模 m			施設				
	長	短	深	柱穴	竈	埋窆	壁帯溝	土坑
	4.5	4.1	0.19	-	○	○	○	
重複関係	SE4に先出し、SA9、SA10、SA11、SA13に後出する							
出土遺物	土師器：甕90-94、鉢95・96、高坏97、坏98-106・165 須恵器：甕107 磁器：108							
特記事項	壁帯溝は、西壁 住居中央付近に一段段差を設ける 遺物90は埋窆							



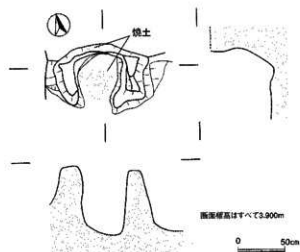
第15図 6号住居実測図

断面標高はすべて4.600m
0 2m



第16図 7号住居実測図

断面標高はすべて4.000m
0 2m



第17図 7号住居電実測図

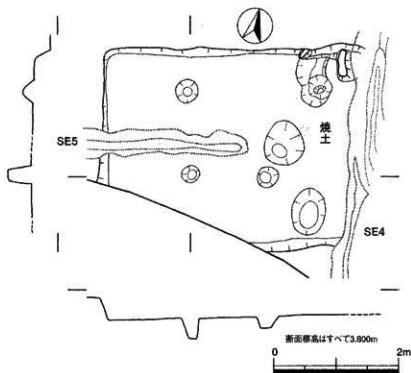
断面標高はすべて3.900m
0 50cm



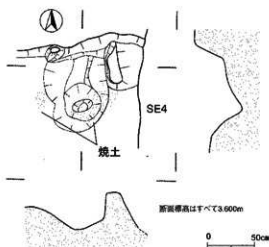
第18図 7号住居埋甕実測図

L=3.800
0 50cm

8号住居	規模 m			施設				
	長	短	深	柱穴	竈	埋甕	壁帯溝	土坑
	3.2	-	0.38	3	○	×	×	↓
重複関係	SE4、SE5に先出し、SA13、SA14、SA16に後出する							
出土遺物	土師器：甕109-112、甌113、坏114・115 須恵器：坏116							
特記事項	中央付近からは、炭化物が出土した							



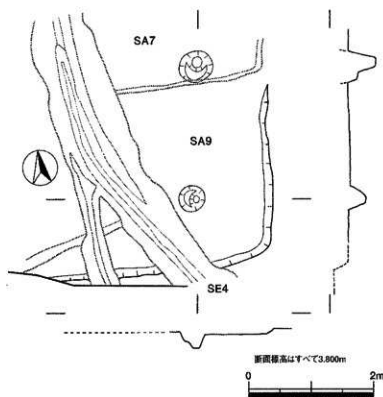
第19図 8号住居実測図



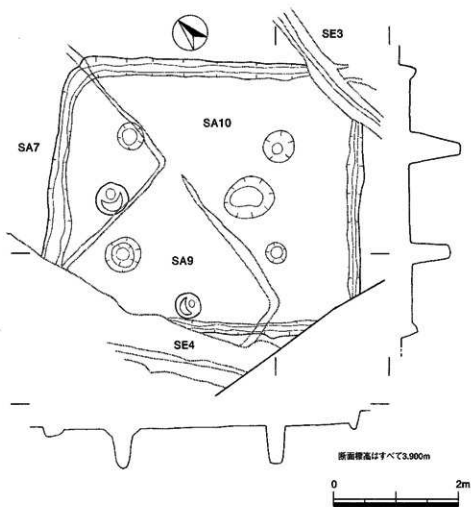
第20図 8号住居電実測図

9号住居	規模 m			施設				
	長	短	深	柱穴	竈	埋甕	壁帯溝	土坑
	-	-	0.1	2	-	-	×	-
重複関係	SA7、SE4に先出し、(SA8)、SA10に後出する							
出土遺物	土師器：甕117-126、壺127、甌128、高坏129、坏130-133 土師器：坏134 土師器：鉢135・136							
特記事項								

10号住居	規模 m			施設				
	長	短	深	柱穴	竈	埋甕	壁帯溝	土坑
	5	4.4	0.3	4	×	×	○	○
重複関係	SA7、SA9、SE4に先出する							
出土遺物	土師器：甕137-148、壺149-154、鉢155・156、高坏157・158、坏159-164 須恵器：甕166 石器：167・168							
特記事項	壁帯溝は全ての壁							

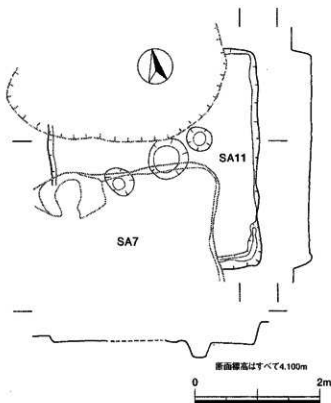


第21図 9号住居実測図



第22図 10号住居実測図

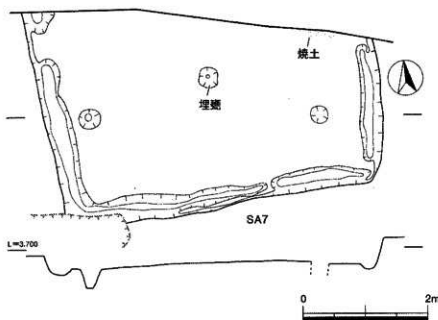
11号住居	規模 m			施設				
	長	短	深	柱穴	竈	埋甕	壁帯溝	土坑
	3.5	3.3	0.36	2	×	×	○	1
重複関係	SA7に先出し、SA6に後出する							
出土遺物	土師器：甕169-173、壺174、坏175・176 須恵器：坏177、坏蓋178							
特記事項	壁帯溝は南東隅							



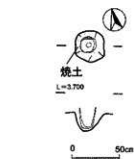
第23図 11号住居実測図

12号住居	規模 m			施設				
	長	短	深	柱穴	竈	埋甕	壁帯溝	土坑
	5.3	-	0.42	2	-	○	○	×
重複関係	SA17、SE4に後出する							
出土遺物	土師器：甕179-182、甕183、高坏184、坏185 須恵器：坏186、坏蓋187							
特記事項	壁帯溝は、西、南、東壁 遺物179は埋甕							

13号住居	規模 m			施設				
	長	短	深	柱穴	竈	埋甕	壁帯溝	土坑
	-	-	0.16	2	-	-	○	-
重複関係	SA7、SA8に先出する							
出土遺物	土師器：甕188、高坏189 石器：190							
特記事項	壁帯溝は西壁							

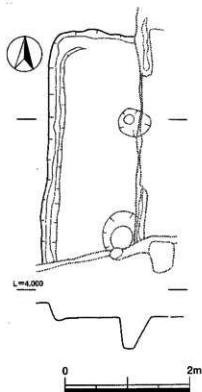


第24図 12号住居実測図

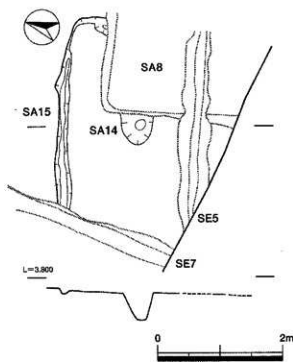


第25図 12号住居埋罐実測図

14号住居	規模 m			施設				
	長	短	深	柱穴	竈	埋甕	壁帯溝	上坑
重複関係	SA7、SA8、SE5に先出し、SA14、SA16に後出する							
出土遺物	土師器：甕191-195、壺196、鉢197、坏198 須恵器：坏199							
特記事項	壁帯溝は、北壁							

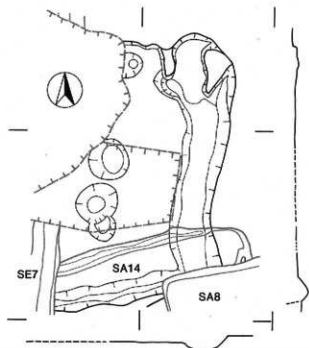


第26図 13号住居実測図



第27図 14号住居実測図

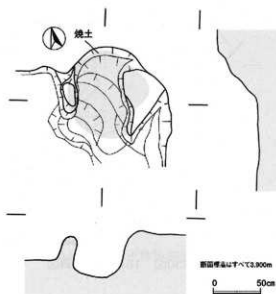
15号住居	規模 m			施設				
	長	短	深	柱穴	竈	埋甕	壁帯溝	土坑
	-	-	0.12	1	○	-	○	2
重複関係	SA8、SA14、SE7に先出する							
出土遺物	土師器：甕200・201、坏202 須恵器：甕203、坏204							
特記事項	壁帯溝は、南、東壁							



断面標高はすべて4.000m



第28図 15号住居実測図

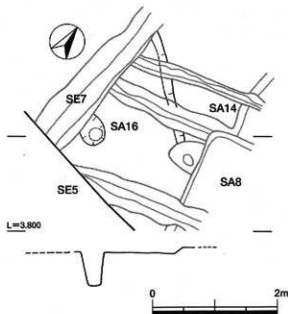


第29図 15号住居竈実測図

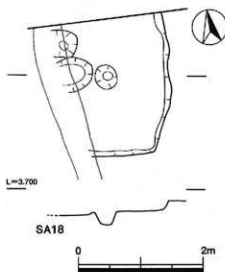
16号住居	規模 m			施設				
	長	短	深	柱穴	竈	埋甕	壁帯溝	土坑
	-	-	0.08	1	-	-	-	-
重複関係	SA14、SE5、SE7に先出する							
出土遺物	土師器：甕205、壺206、坏207-210							
特記事項								

17号住居	規模 m			施設				
	長	短	深	柱穴	竈	埋甕	壁帯溝	土坑
	-	-	0.34	4	-	×	○	3
重複関係	SA12、SA18、SE7に先出する							
出土遺物	土師器：甕211-214、鉢215・216、高坏217、坏218-220 須恵器：坏221、坏蓋222							
特記事項	壁帯溝は、南、東壁							

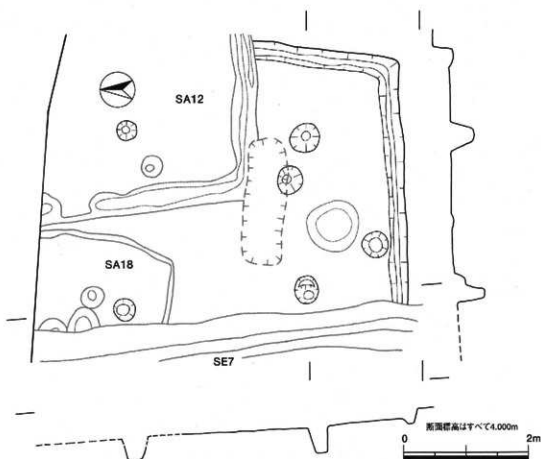
18号住居	規模 m			施設				
	長	短	深	柱穴	竈	埋甕	壁帯溝	土坑
	-	-	0.25	1	-	-	×	2
重複関係	SA17、SE7に先出する							
出土遺物	土師器：甕223、甕224、坏225							
特記事項								



第30図 16号住居実測図



第32図 18号住居実測図

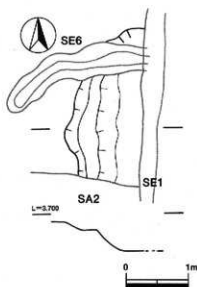


第31図 17号住居実測図

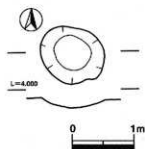
第3節 土坑

1号土坑	規模 m			重複関係	SA2、SE1、SE6に先出する。
	長	短	深	出土遺物	
	2.5以上	1.2以上	0.47	特記事項	

2号土坑	規模 m			重複関係	SA6、SE3に後出する。
	長	短	深	出土遺物	土師器：甕226
	1.0	0.9	0.17	特記事項	

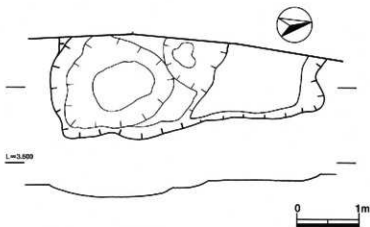


第33図 1号土坑実測図



第34図 2号土坑実測図

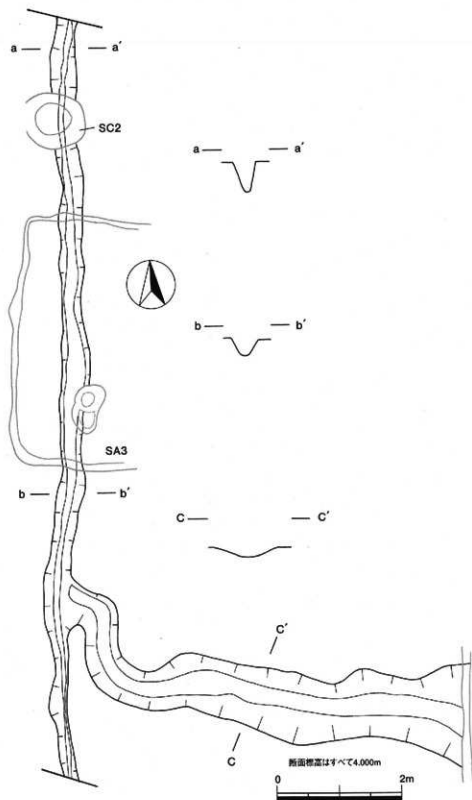
3号土坑	規模 m			重複関係	
	長	短	深	出土遺物	土師器：坏227
	4.3以上	1.7以上	0.23	特記事項	



第35図 3号土坑実測図

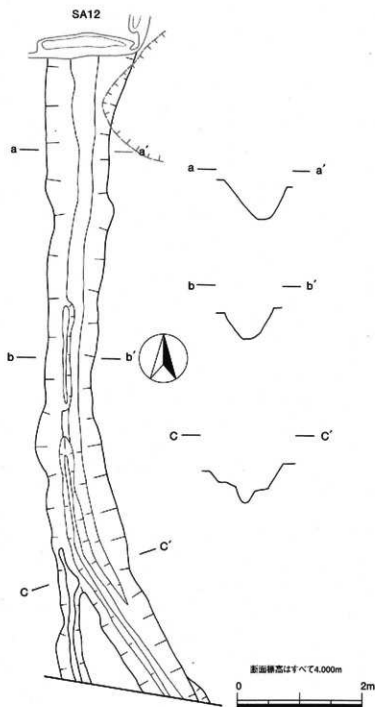
第4節 溝状遺構

3号溝状遺構	規模 m	重複関係	SA2・3、SD2に先出し、SA4・5に後出する。	
	幅	走る方向	ほぼ南北	出土遺物 土師器：甕236-240 坏241-245
	1.6~0.1	深	下る方向	



第36図 3号溝状遺構実測図

4号溝状遺構	規模 m		重複関係	SA12に先出し、SA7、8、9、10に後出する。	
	幅	深	走る方向	ほぼ南北	出土遺物 土師器：罍246・247 环248-253、ミニ チュエ7254 須恵器：环器255、埴器256 金銅器：257
	1.4~0.25	0.65~0.2	下る方向	北→南	



第37図 4号溝状遺構実測図

1・2・5～11号溝状遺構は、全容が判然とせず遺構図を割愛した。遺物は1・2・7～8号溝状遺構で出土しており、下記の通りである。実測図は31ページに掲載した。

遺構名	出土遺物
1号溝状遺構	土師器：壺228、坏229 須恵器：甕230・231、坏蓋232
2号溝状遺構	土師器：高坏233、坏234 須恵器：甕235
7号溝状遺構	磁器：徳利258 銭貨：寛永通宝259
8号溝状遺構	磁器：碗260、陶器：香炉261
9号溝状遺構	土師器：鉢262 須恵器：坏263・264 磁器：碗265～267

第5節 出土遺物

1号・6号・10号住居出土資料は、甕は丸底で長胴を呈し、頸部のしまりが緩く口縁部は緩やかに外反するもの(1, 77, 137)、球形胴で、短い口縁部が直立気味に立ち上がるもの(2, 4, 142)、口縁径が胴部最大径を上回り、頸部に稜を持たず外反するもの(3, 143, 145)といった共通点が見られる。また球形胴に長い口縁がつく長頸壺(8)もみられる。同様の資料は北中遺跡Ⅱの4号・10号・15号・16号住居にも見られる。今回出土須恵器甕(166)は、北中遺跡Ⅱの15号住居出土須恵器と同時期の、TK47に相当する。

また、長胴で頸部のしまりが緩く、口縁部が僅かに外反するもの(55)、「く」の字状の口縁を持つが頸部に稜を持たないもの(57)、小型で平底を呈するもの(140)も確認した。

今回の調査では、埋甕を住居5軒から6基確認した。3号・4号住居出土の埋甕(47, 56)では、広い底部に木葉痕が観察される。2号住居出土の埋甕(32)は平底であるが、木葉痕が観察されなかった。7号住居出土の埋甕(90)は、胴部下を打ち欠き、上半のみを埋設していた。外面は、横方向のハケメが観察され、内面も粘土紐の接合痕は観察されなかった。

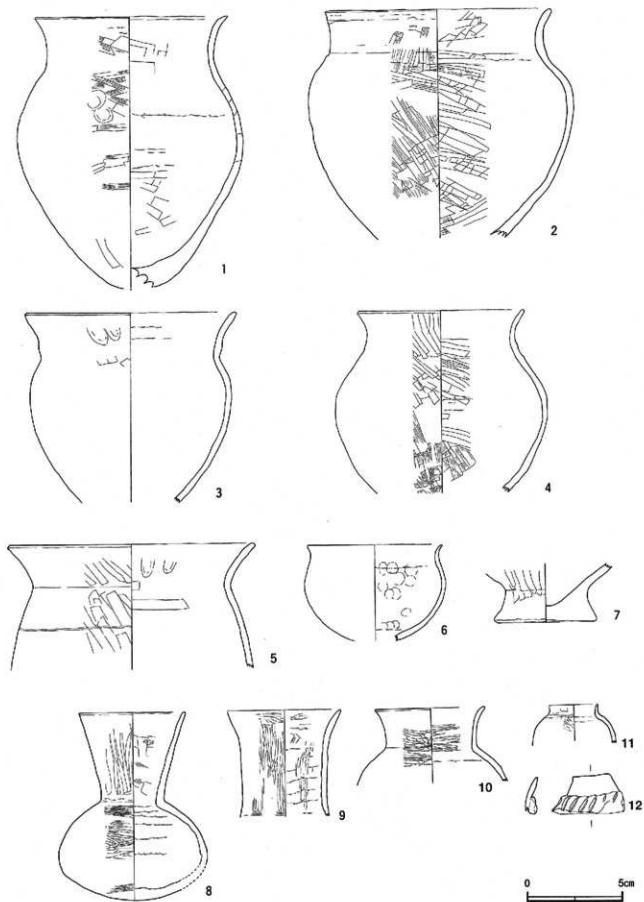
壺は、上記のほか、頸部に凸帯を巡らすもの(12, 81, 149, 150)、小型で偏球状の胴部に短い口縁が直立気味に開くもの(152)が見られる。

鉢は出土が少ないが、外面にミガキを施し、底部に格子状の線刻を施したものの(155)、平底で木葉痕をのこし内外面ともにミガキを施したものの(156)が見られる。

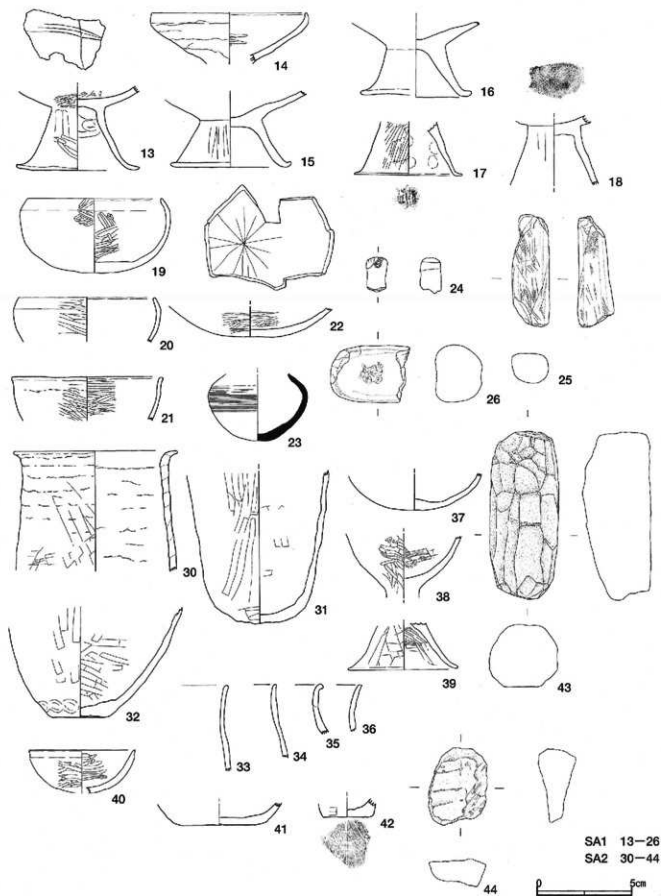
高坏の坏部は坏類に類似している。脚部が「ハ」の字に開き、端部で屈曲して開くもの(16, 17)、脚部が短く「ハ」の字に開くもの(39, 157)、脚柱部を持つもの(158)が見られる。

坏類は、底部から内湾しながら立ち上がり、半球状の胴部を呈するもの、口縁部付近で屈曲して直立するもの、口縁部付近で屈曲して内傾するもの、須恵器模倣坏(130)といったバリエーションが広く見られる。底部にヘラ切りが認められ、口縁部が直線的に開くもの(98～103)も見られる。坏類の中には、線刻が施されたもの(22, 64, 85, 163, 164)も見られる。

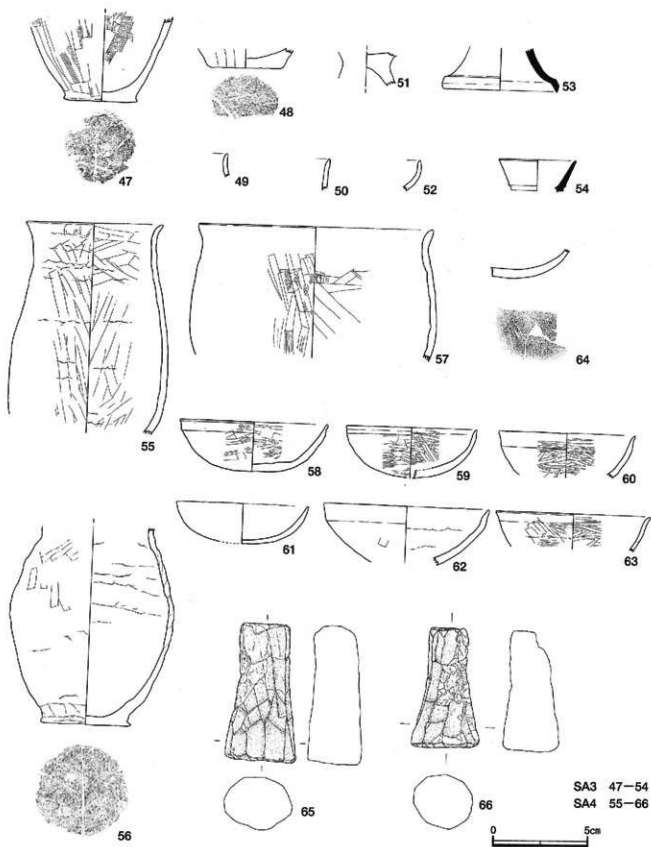
軽石製支脚はいずれも甕内部からの出土である。2号住居出土支脚(43)は、俵型の形態を持ち、4号住居出土支脚(65, 66)は、三角錐状の形態を持つ。



第38图 1号住居出土遗物实测图(1)

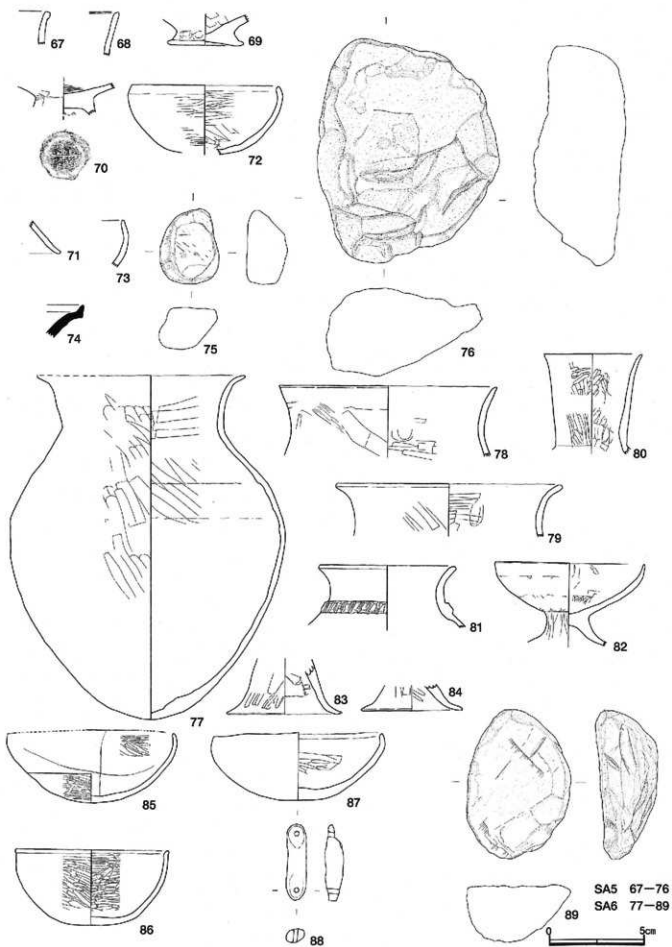


第39图 1号住居出土遺物実測図(2)・2号住居出土遺物実測図

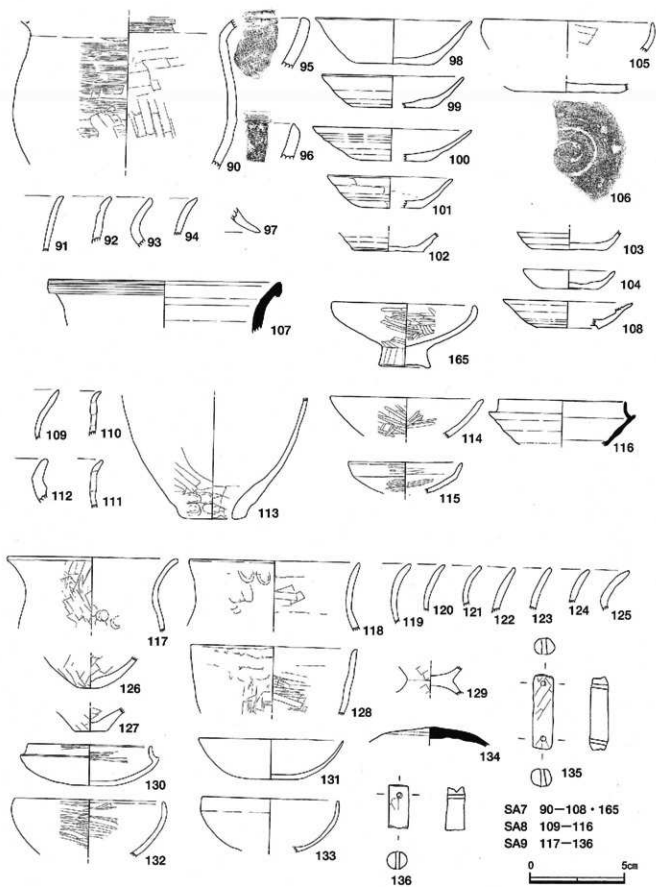


SA3 47-54
 SA4 55-66

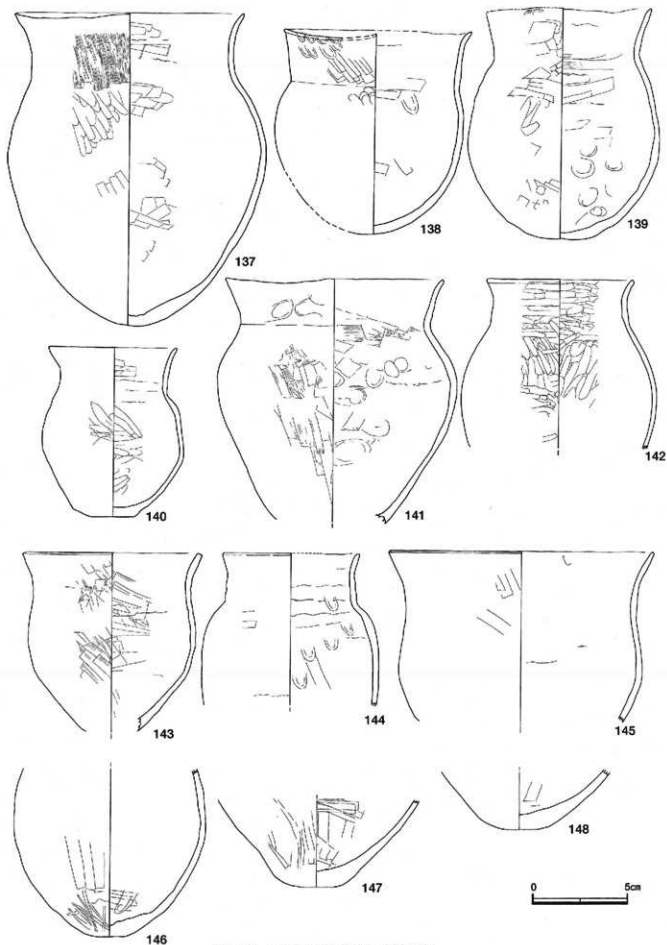
第40图 3号·4号住居出土遺物実測図



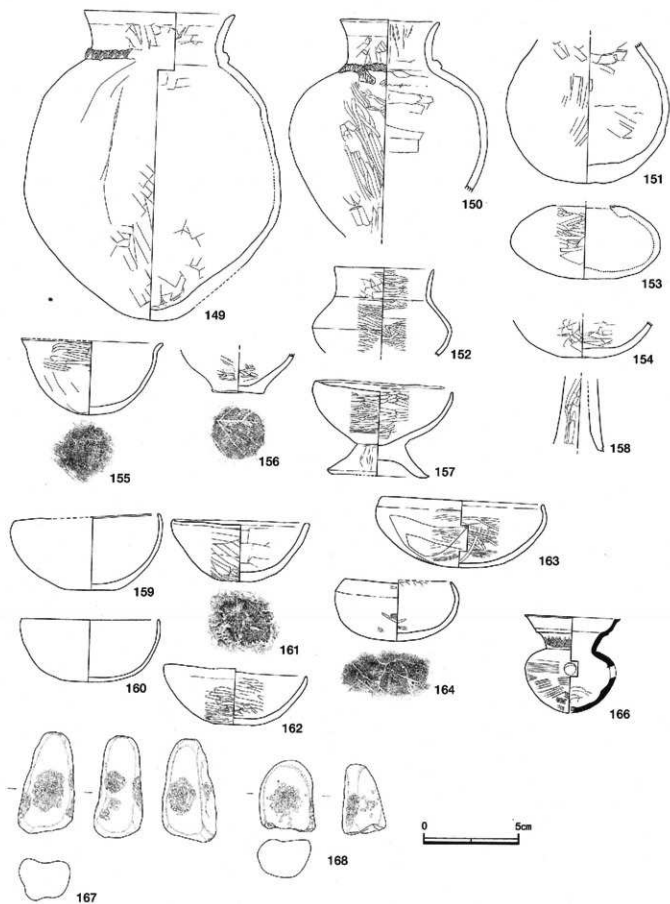
第41图 5号·6号住居出土遗物实测图



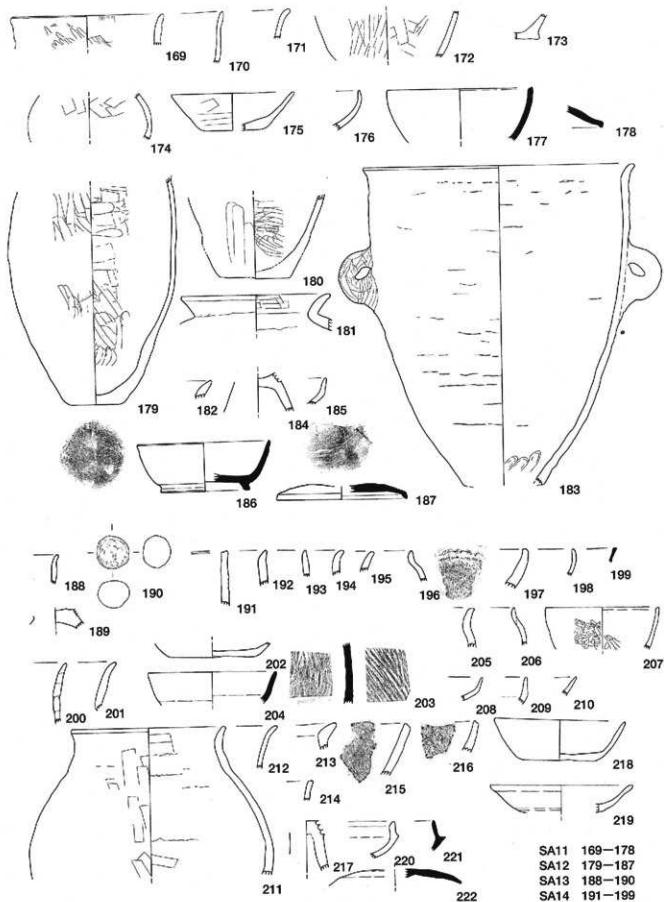
第42图 7号·8号·9号住居出土遗物实测图



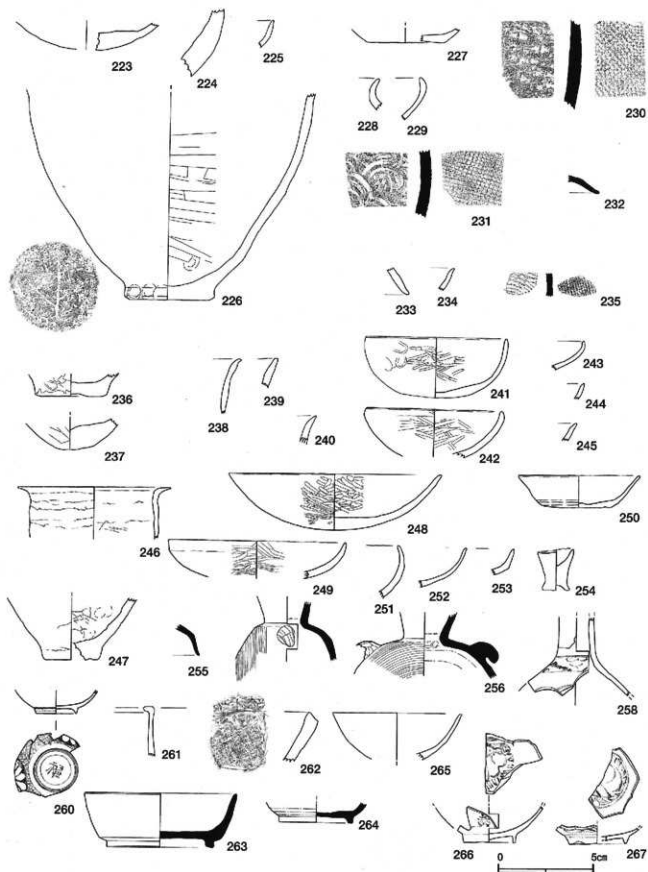
第43图 10号住居出土遺物実測図(1)



第44图 10号住居出土遗物实测图(2)

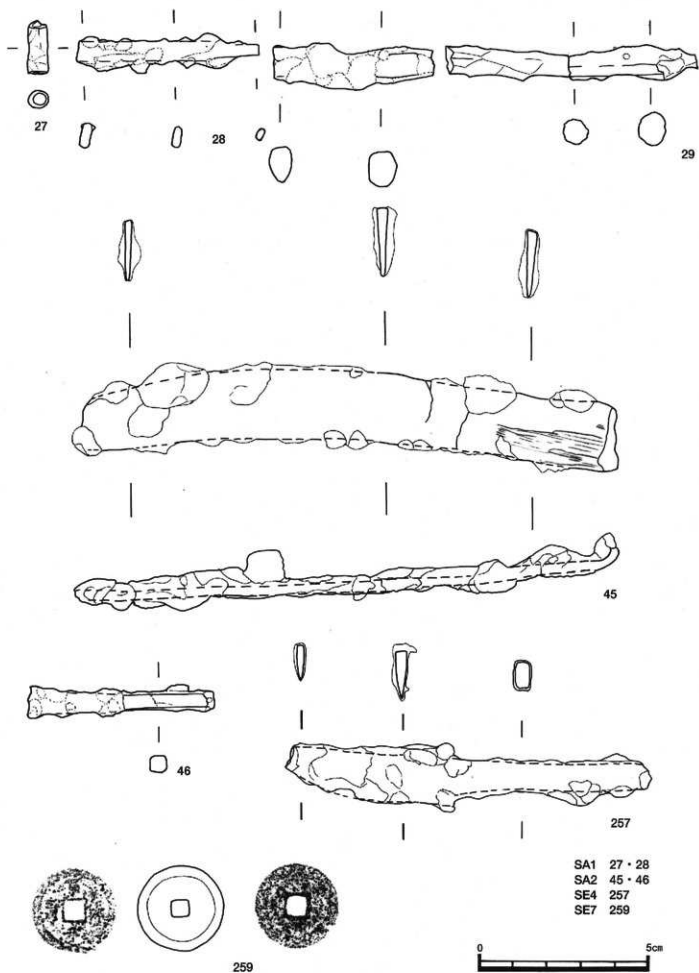


第45图 11~17号住居出土遗物实测图



- | | | | | | |
|------|---------|-----|---------|-----|---------|
| SA18 | 223-225 | SE1 | 228-232 | SE4 | 246-256 |
| SC1 | 226 | SE2 | 233-235 | SE7 | 258 |
| SC3 | 227 | SE3 | 236-245 | SE8 | 260-261 |
| | | | | SE8 | 262-267 |

第46图 18号住居、1号·3号土坑、1~4号·7~9号满状遗構出土遺物実測図



第47图 出土金属製品実測図

第三章 まとめ

住居と集落

今回の調査では、わずか400mほどの調査区から、18軒の竪穴住居を確認することができた。この調査結果をもとに北中遺跡の集落について若干の考察を試みる。

確認された18軒の住居は、出土遺物から6世紀初頭から9世紀前半代までに比定される。6世紀初頭には1号・6号・10号住居の3軒が比定される。続いて5号・9号住居が6世紀中頃(TK10)に営まれる。5号住居は全掘できておらず、9号住居は溝に切られていたため、全容を明らかにすることはできなかったが、いずれの住居からも埋甕は確認できなかった。なお、9号住居については、13号住居とした部分を併せて6.7m×5.5mの6本柱の可能性も考えられる。5号・9号住居に続く6世紀後半(TK43)には3号・8号住居がある。3号住居では、埋甕を2基確認したが、8号住居からは確認されなかった。いずれの住居も竈を有するが3号住居は北壁中央、8号住居は北東隅に付設してあった。続く6世紀末から7世紀初頭(TK209)に4号住居、さらに下る7世紀前半(TK217)に2号住居が営まれる。

続いて住居が営まれるのは、出土須恵器坏蓋(187)のかえりが消失していることから8世紀初頭頃に比定される12号住居である。12号住居についても全掘できていないため、竈の有無は確認できなかったが、埋甕を確認し、住居東側床面で焼土も確認した。その後8世紀末に11号住居が作られ、9世紀前半代に7号住居が営まれた。

7号住居は、住居中央に埋甕(90)を有する。7号住居の埋甕は、下半部を打ち欠き、上半部のみを使用している。その他の住居から出土した埋甕(32, 47, 56, 179)や、大町遺跡出土の埋甕、市内北ヶ迫遺跡で確認された8世紀初頭(Ⅳ段階Ⅰ形式)の住居の埋甕は長胴で、調整が粗く粘土紐の接合痕が観察されるのに対し、外面にハケメが観察されるなど、従来の埋甕の器形とは異なり非常に丁寧に仕上げられている。

本調査で確認した18軒の竪穴住居のうち、竈、もしくは埋甕を有する住居は、その両方を有するものを含めて7軒にのぼる。この7軒の住居はいずれも焚口を南側に向けており、竈を構築する位置は、北壁中央・北東隅の二つのパターンが確認された。しかし、4軒は北壁中央に構築されていた。近接する大町遺跡や、浄土江遺跡においても同様の傾向が強く見られる。

今回の調査で確認された住居中、7号住居に先出し6号住居に後出する11号住居は床面積が11.5㎡と今回確認された住居中最も小さく、中央付近に地床炉を有するのみである。同様の例は平成14年調査の宮脇第2遺跡(註1)でも確認された。旧来想定されていた「炉」を持たないものから地床炉を有するもの、埋甕を有するもの、埋甕と竈を有するもの、竈のみを有するものへと住居が変遷したとする考えに一石を投じる結果となった。

平成8年調査の京園遺跡で確認された3軒の竪穴住居はいずれも9世紀中葉～後葉に比定されているが、同遺跡で確認された竈はいずれも北側壁中央に位置し煙道を有する。北中遺跡では煙道をもつ竈は確認されておらず、煙道付き竈を確認した大町遺跡も含めて、煙道付き竈の

出現と継続についても検討が必要であろう。

今回の調査区の北側に位置する平成13年調査の北中遺跡Ⅱでは、竈を有する住居は確認されず、埋甕を有するものも3軒にとどまった。(註2)

今回の調査区では地下式横穴墓は確認されず、13年度調査区では集落が移動して墓域へと転換されたことが確認された。このことから、大規模な集落の移動ではなくなり、非常に短い間では同じ場所に住居を作り続けながら、以前の集落の一部が墓域へと転換されるようになったと考えられる。

註

1：宮脇第2遺跡5号住居は床面積9.6㎡と狭く、地床炉を有す。

2：16軒の住居を確認し、集落のピークは6世紀初頭～前半と考えられる。11号・12号の2軒の住居の埋甕は丸底を呈す。7号住居の埋甕は長胴で底部に木葉痕を残す。地下式横穴墓10基が確認され、TK43～TK209頃に相当する。

参考文献

『浄土江遺跡』	宮崎市教育委員会	1981
『浄土江遺跡Ⅱ』	宮崎市教育委員会	1993
『京園遺跡』	宮崎市教育委員会	1988
『大町遺跡』	宮崎市教育委員会	1998
『北ヶ迫遺跡』	宮崎市教育委員会	2000
『深田遺跡』	宮崎市教育委員会	2001
『北中遺跡Ⅱ』	宮崎市教育委員会	2002
『古墳時代中・後期の土師器』	九州前方後円墳研究会	2002
『宮脇第2遺跡』	宮崎市教育委員会	2003

遺物観察表 出土土器観察表 (1)

()内は測定値

遺構名	遺物番号	種類	機軸	法量()は測定値 cm			調整				色調		胎土	備考	写真ページ
				口径	器高	底径	外面	内面	内面	外面					
1号住居	1	土師器	甕	22.0			ハケ・ケズリ ユビオサエ	ユビオサエ ケズリナデ	黒・鈍い褐	橙・鈍い褐 黒・褐	3mm以下の黒・褐色の砂礫・砂粒をわずかに含む		62		
	2	土師器	甕	(23.7)			ナデ・ハケメ	ケズリ後ナデ	鈍い黄橙	鈍い黄橙	0.5~3mmの黒・褐色の砂礫・砂粒・細砂粒を含む	薬付着	62		
	3	土師器	甕	(21.7)			ケズリ後ナデ ユビオサエ	ケズリ後ナデ	鈍い橙・褐灰	淡橙・橙	8mm以下の黒・褐・褐色の砂礫・砂粒を含む				
	4	土師器	甕	(17.3)			ハケ・ケズリ	ケズリナデ	鈍い黄橙・橙	橙・鈍い橙	0.5~4mm以下の黒・褐色の砂礫・砂粒・細砂粒を含む	薬付着			
	5	土師器	甕	(25.5)			ケズリナデ	ケズリ後ナデ ユビオサエ	橙	橙	3mm以下の褐色・褐灰の砂粒を含む	薬付着			
	6	土師器	甕				ナデ ユビオサエ		鈍い赤褐	橙	直径~1mmの白・褐色の砂粒を含む				
	7	土師器	甕			10.25	ケズリ ケズリ後ナデ	ケズリ後ナデ	明赤褐	橙	7mm以下の白・黒・褐色の砂粒を含む				
	8	土師器	甕	(11.0)	19.95		ミガキ・ナデ	ケズリ後ナデ	明黄褐	明黄褐・赤褐	直径~2mmの黒色砂粒を含み、3~5mmの赤褐色の砂礫・丸る微細粒をわずかに含む		63		
	9	土師器	甕	(11.8)			ミガキ	ミガキ	鈍い橙	褐	0.5~2mmの褐色の砂粒を含む		64		
	10	土師器	甕	(11.4)			ミガキ	ミガキ・ナデ ユビオサエ	明褐色	明褐色	1mm以下の微細粒を含む				
	11	土師器	甕	(5.0)			ミガキ	ナデ	鈍い黄橙	橙	直径~1mm以下の赤褐色の砂粒を含む		64		
	12	土師器	甕				ナデ	ナデ	黄橙	黄橙	0.5~2mm以下の白・黒・褐色・丸る細砂粒を多く含む	顔目発着			
	13	土師器	高坏			12.4	ケズリ・ミガキ	ミガキ	鈍い橙・黒	黄橙・橙 明赤褐	1mm以下の褐色の砂粒をわずかに含む	顔目?	64		
	14	土師器	高坏		15.9			ミガキ	橙	橙	白・黒の微細粒を含む	風化			
	15	土師器	高坏			(11.65)		ミガキ	橙・鈍い橙	橙・鈍い橙	1mm以下の褐灰の細砂粒を含む		64		
	16	土師器	高坏			(11.7)	ナデ		橙	橙	3mm以下の砂粒をわずかに含む、細砂粒を多く含む	風化	64		
	17	土師器	高坏			(11.4)	ケズリ後ミガキ	ナデ ユビオサエ	鈍い黄橙・橙	鈍い黄橙	1mm以下の褐色の砂粒を含む				
	18	土師器	高坏				ナデ・ミガキ	ナデ	黄橙	橙	4mm以下の黒・褐色・丸る砂粒を含む	坏部内面に激削	65		
	19	土師器	坏	(14.1)	(12.9)		ミガキ	ユビオサエ ミガキ	橙・灰褐	淡黄橙・黒	1mm以下の褐色の原形砂粒を含む	黒斑・風化	64		
	20	土師器	坏				ミガキ	ミガキ	鈍い黄橙	鈍い黄橙	直径~1mmの赤褐色の砂粒を含み、1mm未満の透明の丸る粒をわずかに含む				
	21	土師器	坏				ミガキ	ミガキ	橙	橙	直径~1mmの黒・赤褐色の砂粒を含む				
	22	土師器	坏	(15.8)			ミガキ	ミガキ	橙	橙	2mm以下の黒・灰色の砂粒を含む	内部底面激削			
	23	須恵器	甕				カキ目・ナデ	ナデ	灰	灰	直径~2mm以下の白・黒の砂粒を含む		64		
	24		土師							にぶい黄橙	0.5~4mmの黒・褐色の細砂粒を含む	両端穿孔			
2号住居	30	土師器	甕	(17.0)			ケズリ・ナデ	ナデ	鈍い黄橙	鈍い黄橙・褐灰	直径~4.5mm以下の褐色の砂礫・砂粒を含む	外面薬付着	64		
	31	土師器	甕			(6.2)	ケズリ ユビオサエ	ケズリナデ	鈍い橙・褐灰	鈍い黄橙	5mm以下の白・黒・褐色の砂礫・砂粒を多く含む		63		
	32	土師器	甕				ケズリ	ケズリ後ナデ	鈍い黄橙・褐灰	鈍い黄橙・褐灰	3mm以下の黒・褐色の砂粒を多く含む		63		
	33	土師器	甕	(25.2)			ナデ	ナデ	鈍い黄橙・橙	鈍い橙	5mm以下の褐色の砂礫をわずかに含む、砂粒を多く含む	薬付着			
	34	土師器	甕				ナデ・ハケメ	ナデ	鈍い黄橙	鈍い黄橙	5~1mm以下の褐色の砂礫を多く含む				
	35	土師器	甕				ナデ	ナデ	橙	鈍い橙	3.5~1mm以下の黒・乳白色の砂粒を含む	薬付着			
	36	土師器	甕				ナデ・ハケメ	ケズリ後ナデ	鈍い橙	鈍い橙	2mm以下の褐色の砂粒を含む				
	37	土師器	甕						鈍い黄橙・暗灰	橙	直径~1mm以下の赤褐色の砂粒を含む	風化			
	38	土師器	高坏				ミガキ	ミガキ	黒・鈍い橙	明赤褐・橙	5mm以下の褐色の砂礫・砂粒を含む				
	39	土師器	高坏			(11.4)	ケズリ・ナデ	ケズリ後ナデ	橙	橙	直径~1mm以下の赤褐色の砂粒を含み、丸る微細粒をわずかに含む		64		
	40	土師器	坏	(11.2)	(4.6)		ミガキ	ミガキ	橙	橙・褐灰・黒	褐色の微細粒を含む	顔目?			
	41	土師器	坏			(7.6)	ナデ	ナデ	橙	橙	白・丸る砂粒、細砂粒を含む				
	42	土師器	坏			(5.0)	ケズリ	ケズリ	赤褐	赤褐	0.5~2mm以下の白・黒・褐色・丸る砂粒、細砂粒を多く含む	木炭痕			
	3号住居	47	土師器	甕			7.7	ケズリ	ケズリ	明褐・黒	明褐・赤褐 暗赤灰	6mm~2mm以下の黒・灰色の砂礫・砂粒を多く含む	木炭痕・工具痕	64	
48		土師器	甕			(7.0)	ケズリ後ナデ	ナデ	灰	赤橙・橙	3.5mm以下の白・黒・褐色・丸る砂粒を多く含む	木炭痕			

出土土器観察表 (2)

()内は推定値

遺構名	器物番号	種別	機軸	法量()は推定 cm			調査				色調		胎土	備考	写真ページ
				口径	器高	底径	外面	内面	内面	外面	内面	外面			
3号住居	49	土師器	甕				ナデ	ナデ	黒	鈍い橙	4mm以下の褐色の砂粒を含む				
	50	土師器	壺				ナデ	ナデ	鈍い橙	鈍い橙	微細～1mmの黒・褐色の砂粒をわずかに含む				
	51	土師器	高坏					ユビオサエナデ	橙・鈍い橙	鈍い橙			風化		
	52	土師器	坏				ミガキ		橙	明赤褐	微細～1mmの赤褐色の砂粒を含み、透明の光る微細粒をわずかに含む				
	53	須恵器	高坏			(11.8)	ナデ	ナデ	灰	灰	1mm以下の白・黒色の砂粒を含む		透かし孔		
	54	須恵器	觥 (80)				ナデ	ナデ	灰黄	灰黄	1mm以下の白・黒・褐色の光る微細粒を含む				
4号住居	55	土師器	甕	14.2			ケズリ	ケズリ後ナデ	鈍い橙 鈍い黄橙	鈍い橙・褐灰	3mm以下の黒・褐・褐灰色の砂粒を含む			63	
	56	土師器	甕			(9.55)	ケズリ・ナデ	ナデ	黒・灰褐 鈍い橙	鈍い橙・灰・橙	4mm以下の褐色の砂粒・砂粒を多く含む			木炭底	63
	57	土師器	甕	(24.5)			ケズリ	ケズリ後ナデ	橙	橙	0.5～5mm以下の白・黒・褐色・光る砂粒・砂粒・細砂粒を含む				62
	58	土師器	坏	(15.4)	(5.2)		ケズリ後ミガキ	ケズリ後ナデ	鈍い橙	鈍い橙・橙	2mm以下の黒・褐色の砂粒・塵砂粒を含む				64
	59	土師器	坏	(13.6)			ミガキ	ミガキ	橙	橙・明赤褐	1mm以下の赤褐色の砂粒を含む				
	60	土師器	坏	(14.6)			ミガキ	ミガキ	鈍い褐	鈍い黒・褐馬	微細～1mm以下の褐色の砂粒を含む				
	61	土師器	坏	13.8	4.2				橙	橙	微細～1.0mm以下の褐色の砂粒を含む				63
	62	土師器	坏	(17.4)					橙・鈍い橙	橙・浅黄橙	5mm以下の褐・褐灰色の砂粒・砂粒を多く含む			風化	
	63	土師器	坏	(16.4)			ミガキ	ミガキ	橙	橙	1mm以下の赤褐色の砂粒を含む				
	64	土師器	坏				ミガキ	ミガキ	橙	鈍い橙・明赤褐	2mm以下の褐色の砂粒を含み、1mm以下の透明の砂粒をわずかに含む			底部外面線刻	
5号住居	67	土師器	甕				ケズリ後ナデ	ケズリ	浅黄橙	鈍い橙	0.2mm以下の褐灰・灰褐色の砂粒・細砂粒を多く含む				
	68	土師器	甕				ケズリ後ナデ	ケズリ後ナデ	橙	橙	3mm以下の褐灰・灰褐色の砂粒・細砂粒を含む				
	69	土師器	鉢					ケズリ後ナデ	褐灰	浅い赤橙	4mm以下の砂粒を2個、褐灰色の微細粒を含む				
	70	土師器	高坏				ケズリ後ナデ	ミガキ	鈍い黄・黒 鈍い黄	鈍い黄橙	1mm以下の黒・褐色の砂粒を含む			脚部趾に線刻	65
	71	土師器	高坏				ケズリ後ナデ	ケズリ後ナデ	橙	橙	透明・灰白・褐灰色の細砂粒・微細粒を含む				
	72	土師器	坏	(15.2)			ミガキ	ミガキ・ケズリ	鈍い黄橙・黒	鈍い黄橙	2mm以下の褐色の砂粒、光る微細粒を含む				64
	73	土師器	坏				ミガキ	ミガキ	鈍い橙	橙	褐灰色の微細粒を含む				
	74	須恵器	壺				ナデ	ナデ	灰	灰	2mm以下の白・黒の砂粒を含む				
6号住居	77	土師器	甕	(21.8)	36.35		ケズリ	ケズリ後ナデ	橙	橙・鈍い黄橙・浅黄橙	7mm以下の白・黒・褐灰色の砂粒を多く含む			煤付着	62
	78	土師器	甕	43.0			ケズリ・ナデ	ナデ・ユビオサエ・ケズリ	橙・黒	橙	3mm以下の白・砂粒を多く含む				
	79	土師器	甕	(23.6)			ケズリ後ナデ	ケズリ後ナデ	鈍い黄橙・橙	鈍い橙	5.5mm以下の黒・褐色の砂粒を含む				
	80	土師器	壺	10.3			ミガキ	ミガキ	橙・鈍い橙	橙	黒・褐色の微細粒を含む				
	81	土師器	壺	(14.2)			ナデ	ナデ	橙	橙	2.5mm以下の白・黒・褐灰色の砂粒を多く含む			網目突帯	63
	82	土師器	高坏	(15.5)				ミガキ	浅黄橙	浅黄橙・褐灰	2mm以下の褐色の砂粒をわずかに含む			風化	64
	83	土師器	高坏			11.5	ケズリ後ミガキ	ユビオサエ	黄橙・灰	黄橙・橙	褐色の微細粒を含む				
	84	土師器	高坏			(10.4)	ケズリ後ナデ	ミガキ	橙	橙	1mm以下の黒・褐色の砂粒を含む				
	85	土師器	坏	17.1	7.7		ミガキ	ミガキ	明赤褐	明赤褐・橙	1mm以下の褐色の微細粒を含む			内面線刻	64
	86	土師器	坏	18.9	8.0		ミガキ	ミガキ	橙・鈍い黄橙	橙・浅黄橙	3mm以下の褐色の砂粒を含む				64
	87	土師器	坏	17.25	17.25			ミガキ	黄橙	浅黄橙	3.5mm以下の褐色の砂粒・塵砂粒・砂粒をわずかに含む			風化	64
88		土鉢												65	
7号住居	89	土師器	甕				ハケメナデ	ケズリ・ナデ	鈍い黄褐 灰・褐灰	鈍い黄橙・褐灰 灰黄褐・暗褐	4mm以下の褐・乳白色の砂粒を多く含む			煤付着	82
	91	土師器	甕				ケズリ後ナデ	ケズリ後ナデ	橙	橙	3mm以下の白・黒・褐色・光る砂粒を多く含む				
	92	土師器	甕				ナデ	ナデ	橙	橙	4mm以下の黒・褐色の砂粒を含む				

出土土器観察表 (3)

()内は測定値

遺物番号	遺物名	種類	機種	法量 ()は測定値 cm			調整		色調		胎土	備考	写真ページ
				口径	器高	底径	外面	内面	内面	外面			
7号住居	93	土師器	甕				ケズリ後ナデ	ナデ	鈍い橙	橙-鈍い黄橙	3mm以下の黒い-褐色の砂粒を含む		
	94	土師器	甕				ハケメ	ハケメ	橙	橙	2.5-1mmの黒-褐色-白く光る砂粒を多く含む		
	95	土師器	鉢				ケズリ後ナデ		赤褐	明赤褐	6mm以下の暗褐色-黒褐色の砂粒-砂粒を含む	有灰	
	96	土師器	鉢						橙	橙	橙の微細粒をわずかに含む	有灰	
	97	土師器	高坏				ナデ	ナデ ユビオサエ	鈍い橙	鈍い橙	1mm以下の褐色の微細粒、尤も乳白色の微細粒を含む		
	98	土師器	坏			(7.2)		ユビオサエ	橙-灰	橙	1mm以下の黒い-砂粒を含む	底部ヘラキリ	63
	99	土師器	坏	(14.8)	(3.4)	(8.0)	ナデ	ナデ	橙	鈍い橙	1mm以下の黒い-細砂粒を含む	底部ヘラキリ	
	100	土師器	坏	(16.8)	(3.4)	(6.8)	ナデ	ナデ	浅黄橙	浅黄橙	1mm以下の黒い-砂粒を含む	風化	
	101	土師器	坏	(13.0)	(3.3)	(6.0)	ケズリ後ナデ	ナデ	鈍い橙-鈍い黄	鈍い橙-鈍い黄	1mm以下の黒い-細砂粒を含む	底部ヘラキリ	
	102	土師器	坏			(7.0)	ナデ	ナデ	橙	橙	2mm以下の黒い-細砂粒を含む	底部ヘラキリ	
	103	土師器	坏			(7.3)	ケズリ後ナデ	ナデ	橙	橙-浅黄橙	2mm以下の黒い-細砂粒を含む	底部ヘラキリ	
	104	土師器	坏			2.0	ナデ	ナデ	褐灰	鈍い黄橙	2mm以下の黒い-褐色の砂粒-細砂粒を含む	底部ヘラキリ	
	105	土師器	坏	(17.8)			ケズリ		橙	鈍い橙	1mm以下の黒い-砂粒を含む	風化	
	106	土師器	坏						橙	赤褐-橙	1mm以下の黒-透明-褐色の細砂粒を含む	底部ヘラキリ	
	107	須恵器	甕	(24.4)			ナデ	ナデ	灰	灰	5mm以下の白-砂粒を含む		
	108	甕器	坏	(13.4)			ケズリ	ナデ	灰白	灰白	白く精良		
165	土師器	坏	(15.0)	7.7	5.0	ケズリ後ナデ ミガキ	ミガキ	橙	浅黄橙	3mm以下の白-黒-褐色-光る砂粒を含む	高台付き	64	
8号住居	109	土師器	甕				ケズリ	ナデ	灰黄褐	褐灰	6mm以下の赤褐色の砂粒をわずかに含む		
	110	土師器	甕						鈍い黄橙-橙	橙	4mm以下の黒-灰色の砂粒を含む	風化	
	111	土師器	甕				ケズリハケメ	ナデ	灰黄褐	褐灰	1-6mmの赤褐色の砂粒-砂粒をわずかに含む		
	112	土師器	甕						鈍い橙	橙	4mm以下の赤褐-灰色の砂粒を含み、1mm以下の透明の砂粒をわずかに含む	風化	
	113	土師器	瓶			(4.8)	ケズリ後ナデ ユビオサエ	ケズリ後ナデ	橙-黄橙	灰褐-橙	1mm以下の黒色-光る砂粒を多く含む		64
	114	土師器	坏	(16.0)			ミガキ	ミガキ	鈍い橙	橙	3.5mm以下の白-黒-褐色-光る砂粒を多く含む		
	115	土師器	坏	(11.8)			ミガキ	ミガキ	橙	橙-明黄褐	2mm以下の褐色-光る砂粒を含む		
	116	須恵器	坏	(13.4)			ヘラケズリ ナデ	ナデ	灰	灰	4mm以下の黒砂粒を含む		64
9号住居	117	土師器	甕	(17.8)			ケズリ後ナデ ナデ ユビオサエ	ナデ ユビオサエ	鈍い褐	鈍い褐	微細-3mm以下の褐色の砂粒を含む		
	118	土師器	甕	(17.8)			ケズリ後ナデ ユビオサエ	ケズリ後ナデ	橙	鈍い橙-鈍い赤 橙	4mm以下の黒-褐色-褐灰の砂粒を多く含む		
	119	土師器	甕				ケズリ後ナデ	ケズリ後ナデ	鈍い赤橙	鈍い橙	4.5mm以下の黒-褐色の砂粒を含む	煤付着	
	120	土師器	甕						橙	橙	3mm以下の白-黒-褐灰の砂粒を多く含む	風化	
	121	土師器	甕				ケズリ後ナデ	ケズリ後ナデ	灰	鈍い褐	3.5mm以下の褐色の砂粒を含む		
	122	土師器	甕				ケズリ後ナデ	ケズリ後ナデ	鈍い黄橙-青灰	鈍い橙	3.5mm以下の黒-褐色の砂粒を含む	煤付着	
	123	土師器	甕				ケズリ後ナデ		鈍い赤褐	橙	4mm以下の白-黒-褐色の砂粒を含む	風化	
	124	土師器	甕				ケズリ後ナデ		鈍い橙-鈍い赤 橙	鈍い橙	3mm以下の黒-褐色の砂粒を含む	煤付着-風化	
	125	土師器	甕				ナデ	ナデ	鈍い橙	橙	微細-3mm以下の赤褐色の砂粒を含む		
	126	土師器	甕			(2.0)	ケズリ後ナデ	ケズリ	鈍い黄橙	橙	5mm以下の白-黒-褐色-灰の砂粒-砂粒-粗砂粒を含む		
	127	土師器	釜										
	128	土師器	瓶				ナデ	ナデ ケズリ後ナデ	鈍い橙 灰褐	鈍い橙 灰褐	微細-1mmの褐色の砂粒を含み、0.5mm以下の透明の光る粒をわずかに含む		
	129	土師器	高坏	(17.1)			ケズリ後ナデ	ケズリ後ナデ	黄橙	黄橙	1mm以下の白-黒-褐色の細砂粒を含む		
130	土師器	坏	(13.0)	(4.3)		ケズリ後ナデ ナデ	ミガキ	橙	橙-鈍い橙	3mm以下の黒-褐色の砂粒を含む	風化	63	
131	土師器	坏	(15.2)	4.7	5.2			橙	橙	微細-2mmの白-赤褐色の砂粒を含む	風化		

出土土器観察表 (4)

()内は測定値

遺構名	遺物番号	器別	機軸	法容()は推定 cm		調整		色面		胎土	備考	写真ページ
				口径	器高	底径	外面	内面	内面			
9号住居	132	土師器	坏	(15.8)			ミガキ	ミガキ	橙	橙	4mm以下の黒・褐色の砂粒を含む	
	133	土師器	坏	(14.1)			ナデ		橙	橙	黒褐色1mmの赤褐色の砂粒を含む	風化
	134	須恵器	坏蓋				ナデ・ケズリ	ナデ	灰 灰オリーブ	灰	3mm以下の白・黒・灰の砂粒・細砂粒を含む	
	135		土師									65
	136		土師									65
10号住居	137	土師器	甕	24.2	33.2		ケズリ・ハナメ ナデ	ケズリ	橙・鈍い黄・黒 黄・褐色	橙・明赤褐・黒褐	5mm以下の白・黒色の砂粒を多く含む	
	138	土師器	甕	(19.7)	(21.5)		ケズリ後ナデ ユビオサエ	ユビオサエ ケズリ後ナデ	明赤褐・橙	橙・鈍い橙	4.5mm以下の白・黒・褐色の砂粒を含む	内面係付着
	139	土師器	甕	24.6	17.3		ケズリ ケズリ後ナデ	ユビオサエ ケズリ後ナデ	橙	鈍い橙	4mm以下の尤る褐色の砂粒を多く含む	係付着
	140	土師器	甕	13.3	17.9	(4.7)	ケズリ ケズリ後ナデ	ケズリ後ナデ	褐色・鈍い黄・橙	鈍い橙	5mm以下の黒・褐色の砂粒を多く含む	係付着
	141	土師器	甕	22.6			ケズリ後ナデ ナデ ユビオサエ	ユビオサエ ケズリ・ナデ	鈍い橙・褐色 灰黄橙	鈍い橙・褐色 鈍い黄	3.5mm以下の褐色砂粒を含む	内面係付着
	142	土師器	甕				ナデ	ナデ	褐色・橙	橙・鈍い橙	5mm以下の褐色の砂粒・砂粒を含む	
	143	土師器	甕	(17.9)			ケズリ後ナデ	ケズリ後ナデ	鈍い橙	鈍い黄	5mm以下の黒・赤褐色の差粒を含む	係付着
	144	土師器	甕	(14.0)			ケズリ ケズリ後ナデ	ケズリ ユビオサエ	鈍い黄橙	鈍い黄・橙	5mm以下の黒・褐色の砂粒を多く含む	係付着
	145	土師器	甕	(27.6)			ケズリ後ナデ		橙	橙・鈍い黄橙	5mm以下の黒・褐色の砂粒を多く含む	風化
	146	土師器	甕			(2.7)	ケズリ ケズリ後ナデ	ケズリ後ナデ ユビオサエ	明赤褐	明赤褐・鈍い橙	5mm以下の黒・褐色の砂粒を多く含む	
	147	土師器	甕				ケズリ後ナデ	ケズリ後ナデ	橙	橙・鈍い橙・褐色	6mm以下の黒・褐色・尤る砂粒を多く含む	61
	148	土師器	甕			(3)	ケズリ後ナデ		褐色	鈍い橙	3mm以下の明褐色・鈍い赤褐色の砂粒・細砂粒を多く含む	内面風変
	149	土師器	甕	(15.8)	32.6		ケズリ後ナデ ケズリ・ナデ	ケズリ後ナデ	赤橙・鈍い黄	明赤褐・鈍い黄	6mm以下の赤褐・灰色の砂粒を含む	斜目突起 内面係付着
	150	土師器	甕	10.2			ミガキ・ケズリ	ケズリ後ナデ ナデ	鈍い赤褐	明赤褐・明赤褐	1mm以下の黒・褐色の微細粒を含む	斜目突起
	151	土師器	甕				ケズリ後ナデ	ユビオサエ ケズリ後ナデ	橙	橙	3mm以下の黒・褐色の砂粒を含む	63
	152	土師器	甕	(10.4)			ミガキ	ミガキ	鈍い黄褐・灰黄 橙・明赤褐	鈍い黄橙	1mm以下の尤る砂粒をわずかに含み、褐色の砂粒を含む	
	153	土師器	甕				ケズリ・ミガキ	ユビオサエ ナデ	橙・鈍い橙	橙・明赤褐・黒 灰オリーブ	黒・灰色の微細粒を含む	64
	154	土師器	甕			2.9	ケズリ後ナデ	ケズリ後ナデ	鈍い橙	鈍い橙	4mm以下の赤褐・灰色の砂粒を含み、1mm以下の透明の砂粒をわずかに含む	
	155	土師器	鉢	14.9	7.85		ケズリ・ミガキ		橙・浅黄橙	浅黄橙・橙	3mm以下の黒・褐色・尤る砂粒を多く含む	縮短
	156	土師器	鉢			5.0	ケズリ後ナデ	ミガキ	鈍い橙	鈍い橙	1mm以下の黒い砂粒を含む	木葉表
157	土師器	高坏	14.36	8.9	10.7	ミガキ・ナデ	ミガキ	鈍い黄橙	鈍い黄橙	3mm以下の黒い砂粒を多く含む	64	
158	土師器	高坏				ミガキ	ナデ	赤褐色	赤褐色	1mm以下の褐色・乳白色の微細粒を含む	61	
159	土師器	坏	(15.1)	(7.75)	(4.7)	ナデ		橙・鈍い橙・褐色	鈍い橙・橙	3mm以下の白・黒・褐色の砂粒を多く含む	風化	
160	土師器	坏	14.5	6.55				橙	橙	0.1mm以下の白・黒・褐色の砂粒・微細粒を多く含む	風化	
161	土師器	坏	14.1	6.4		ケズリ	ケズリ後ナデ	橙	橙	7mm以下の褐色の砂粒を多く含む	木葉裏	
162	土師器	坏	15.0	5.9	4.8	ミガキ	ミガキ	鈍い黄橙	黒黄橙・明赤褐・明橙	黒・尤る微細粒を含む	64	
163	土師器	坏	17.1	7.1		ミガキ	ミガキ	橙	橙	4mm以下の黒・褐色の砂粒を含む	観察	
164	土師器	坏	(11.1)	(6.5)		ミガキ	ミガキ	橙	橙	4mm以下の白・黒い砂粒を含む	縮短・黒変	
166	須恵器	甕	9	10.2		ナデ・カキメ タナキ後ナデ	ユビオサエ カキメ	灰・黒・鈍い黄 オリーブ	褐色・灰 オリーブ	2.5-0.1mmの乳白色の砂粒をわずかに含む	透かし孔 波状紋	
11号住居	169	土師器	甕	(15.7)			ミガキ	ケズリ・ナデ	赤褐・黒	暗赤褐・黒	5mm以下の白・黒・褐色の砂粒・砂粒・細砂粒を多く含む	係付着
	170	土師器	甕				ケズリ後ナデ	ケズリ後ナデ	鈍い橙	鈍い橙	3mm以下の灰白・褐色の砂粒を含む	
	171	土師器	甕				ナデ	ナデ	橙	鈍い赤褐	3mm以下の黒・褐色・暗赤褐色の砂粒・細砂粒を含む	
	172	土師器	甕				ケズリ	ケズリ後ナデ	鈍い黄橙	鈍い橙・灰黄橙	5mm以下の黒・褐色の砂粒をわずかに含む	

出土土器観察表 (5)

()内は推定値

遺構名	遺物番号	種類	形状	法量()は推定 cm			調整				色調		筋七	備考	写真ページ
				口径	器高	底径	外面	内面	内面		外面				
									内面	外面	内面	外面			
11号住居	173	土師器	壺				ケズリ後ナデ	ケズリ後ナデ	鈍い橙	鈍い橙	褐灰・灰褐・灰白の微細粒をわずかに含む				
	174	土師器	壺				ミガキ	ケズリ後ナデ	鈍い黄橙	淡黄橙	褐灰の微細粒を含む				
	175	土師器	坏	(12.5)	(4.9)	(5.7)	ケズリナデ	ナデ	黄橙	黄橙・橙	1mm以下の白・黒・褐色・光る微細粒を含む	風化			
	176	土師器	坏				ナデ	ナデ	橙	橙	1mm以下の白・黒・灰の粗砂粒を含む	風化			
	177	須恵器	坏				ナデ	ナデ	灰黄	灰	1mm以下の白・黒・灰の粗砂粒を含む				
	178	須恵器	坏蓋						灰白	灰白	1mm以下の白・黒の粗砂粒を含む				
12号住居	179	土師器	壺			5.0	ケズリ	ケズリ	浅黄・灰黄・黒褐	橙・浅黄橙・褐灰・黒橙	7mm以下の黒・褐色・光る砂粒を多く含む		木炭灰・煤付着	63	
	180	土師器	壺			(6.7)	ケズリ	ケズリ	灰・灰黄・鈍い黄橙	鈍い黄橙	4mm以下の黒・褐色の砂粒を多く含む	風化		64	
	181	土師器	甕	(13.4)			ケズリ後ナデ	ケズリ後ナデ	鈍い黄橙	鈍い橙	3mm以下の白・黒・褐色の砂粒を含む				
	182	土師器	壺						鈍い橙	鈍い橙	4mm以下の黒・褐色の砂粒を含む	風化			
	183	土師器	甕	(28.5)			ナデ	ケズリ後ナデ	橙・鈍い橙	橙	0.5-6mmの黒・褐色の砂粒・砂粒を多く含む	把手		62	
	184	土師器	高坏				ナデ	ケズリ後ナデ	橙	鈍い黄橙	1mm以下の白・黒・灰の粗砂粒を含む				
	185	土師器	坏						橙	鈍い橙	1mm以下の黒い微細粒を含む	風化			
	186	須恵器	坏	(13.8)	5.2	9.2	ケズリ後ナデ	ナデ	灰	灰	2mm以下の白・黒の粗砂粒を含む	部に蝕		64	
	187	須恵器	坏蓋	(13.6)			ナデ	ナデ	灰	灰	白・灰色の微細粒を含む	天井へウ記号			
	188	土師器	壺				ケズリ後ナデ	ケズリ後ナデ	鈍い黄橙	鈍い橙	2mm以下の灰褐色の砂粒・粗砂粒を含む				
189	土師器	高坏						橙	橙	粗粒-1mmの白・褐色の砂粒を含む					
14号住居	191	土師器	壺				ナデ	ナデ	黄橙	淡黄橙	0.5mm以下の白・黒・褐色の微細粒をわずかに含む				
	192	土師器	甕						橙	橙・明赤褐・灰	1mm以下の白・黒・褐色の粗砂粒を多く含む				
	193	土師器	壺				ケズリ後ナデ	ケズリ後ナデ	褐灰	淡黄橙	鈍い橙・灰褐色の粗砂粒・微細粒を含む	煤付着			
	194	土師器	壺				ナデ	ナデ	橙	橙	1mm以下の白・黒・褐色・灰の粗砂粒を含む				
	195	土師器	壺						鈍い橙	鈍い橙	1.5mm以下の黒・褐色の砂粒を含む				
	196	土師器	壺				ミガキ	ミガキ	橙	橙	4mm以下の白・褐色の砂粒・粗砂粒を多く含む				
	197	土師器	鉢						橙	橙	5mm以下の鈍い橙・灰褐色の砂粒・砂粒を含む	布痕			
	198	土師器	坏						鈍い橙	鈍い橙	灰褐色の微細粒を含む				
	199	須恵器	坏				ナデ	ナデ	黄灰	黄灰	粗粒				
	15号住居	200	土師器	壺				ケズリ	ケズリ後ナデ	明赤褐	明赤褐	微細-3mm以下の白・褐色・灰の砂粒を含む			
201		土師器	壺				ナデ	ナデ コシナデ後ナデ	鈍い橙	鈍い橙	微細-2mm以下の赤褐色の砂粒を含む	煤付着			
202		土師器	坏						橙	橙	微細-1mm以下の褐色の砂粒を含む	底部へウキリ			
203		須恵器	壺				タタキ	タタキ	灰	灰	微細-1mm以下の白の砂粒を含む				
204		須恵器	坏	(13.4)				ナデ	灰黄	灰白	微細-2mm以下の褐色の砂粒をわずかに含む				
16号住居	205	土師器	壺				ナデ	ケズリ後ナデ	橙	橙	1.5mm以下の白・黒・褐色の砂粒を含む				
	206	土師器	壺				ナデ・ミガキ	ミガキ	橙	明赤褐	1mm以下の褐色と黒く光る微細粒を含む	赤砂?			
	207	土師器	坏	(11.8)			ミガキ	ミガキ	橙・鈍い黄橙 灰	橙	1mm以下の褐色・灰色の微細粒を含む	赤砂?			
	208	土師器	坏				ミガキ	ミガキ	鈍い褐色	橙・灰黄褐	1mm以下の褐色と透明で光る微細粒を含む				
	209	土師器	坏				ミガキ	ミガキ	橙・明赤褐	橙・明赤褐・黒	1mm以下の褐色と透明で光る微細粒を含む				
	210	土師器	坏				ナデ	ナデ	橙	橙	0.5mm以下の白・黒・褐色の微細粒をわずかに含む				
17号住居	211	土師器	壺	(16)			ケズリ	ケズリナデ	橙・鈍い黄橙	橙	4mm以下の黒・褐色の砂粒・砂粒を含む	煤付着			
	212	土師器	壺				ケズリ後ナデ	ケズリ後ナデ	橙	鈍い橙	2mm以下の褐灰・鈍い褐の砂粒・粗砂粒を多く含む	煤付着			
	213	土師器	壺				ナデ	ナデ	鈍い黄橙	鈍い黄橙	5mm以下の褐灰の黒・砂粒・微細粒を含む				

出土土器観察表 (6)

()内は推定値

遺構名	遺物番号	類別	形状	法京()は推定値 cm			調整		色調		胎土	備考	写真ページ
				口径	器高	底径	外面	内面	内面	外面			
17号住居	214	土師器	甕				ナデ	ナデ	浅黄褐色	鈍い橙	2mm以下の黒・黒・透明・褐色の細砂・粗砂を含む		
	215	土師器	鉢				ナデ		橙	橙	6mm以下の白・灰・橙の砂・粗砂を含む	有痕	
	216	土師器	鉢				ナデ		橙	橙		有痕	
	217	土師器	高坏				ナデ	ケズリ後ナデ	橙	橙			
	218	土師器	坏	(13.7)	4.3	7.7			橙	橙	1mm以下の白・黒・透明・褐色の粗砂を含む		底部へウキリ
	219	土師器	坏						橙	橙	1mm以下の白・黒・透明・褐色の微細砂を含む		
	220	土師器	坏						橙	橙	褐色・明赤褐色の粒を含み、透明の微細砂を含む		
	221	須恵器	坏				ナデ	ナデ	灰	灰	0.5mm以下の白・灰の粗砂をわずかに含む		
	222	須恵器	坏蓋				ケズリ	ナデ	灰	灰	0.5mm以下の白・黒の粗砂をわずかに含む		
	18号住居	223	土師器	甕						鈍い橙 灰オレンジ	橙・浅黄褐色	微細～2mmの褐色・灰色の砂粒を含む	
224		土師器	甕				ナデ	ケズリ	鈍い黄褐色 明赤褐色	鈍い橙 明赤褐色	微細～4mmの褐色の砂粒を含む		
225		土師器	坏				ナデ	ナデ	鈍い黄褐色	鈍い黄褐色・黒	1mm以下の褐色の砂粒を含み、透明の微細砂をわずかに含む		
2号土坑	226	土師器	甕			(8.3)	ナデ	ケズリ後ナデ	黒	鈍い黄褐色	4mm大の砂粒を含み、3mm以下の赤灰の砂粒を多く含む	木炭灰	62
3号土坑	227	土師器	坏			(8.0)	ナデ	ナデ	橙	橙	微細～1mmの褐色の砂粒をわずかに含む		
1号溝状遺構	228	土師器	甕				ミガキ	ミガキ	鈍い橙	鈍い橙	0.1mm以下の黒っぽい微細砂を含む		
	229	土師器	坏				ナデ・ミガキ	ナデ・ミガキ	鈍い黄褐色	鈍い黄褐色	1mm以下の褐色の微細砂を含む		
	230	須恵器	甕				タタキ		灰	灰	微細～2mmの褐色の砂粒を含む		
	231	須恵器	甕				タタキ		灰	灰	微細～1mmの白い砂粒をわずかに含む		
	232	須恵器	坏蓋				ケズリ後ナデ ナデ	ナデ	灰	灰	0.5mm以下の白・褐色の砂粒を含む		
2号溝状遺構	233	土師器	高坏				ミガキ	ミガキ	橙	橙	1mm以下の黒・褐色の粗砂を含む		
	234	土師器	坏				ナデ後ミガキ	ミガキ	橙・灰	橙	1mm以下の黒い粗砂を含む		
	235	須恵器	甕				タタキ	タタキ	灰褐色	明赤褐色	1.5mm以下の白い砂粒を含む		
3号溝状遺構	236	土師器	甕			6.5	ケズリ後ナデ	ケズリ	明赤褐色	明赤褐色	0.5～8mmの白・黒・褐色の砂・粗砂・細砂を含む		
	237	土師器	甕				ケズリ後ナデ	ナデ	鈍い黄褐色 灰黄褐色	鈍い黄褐色	微細～2mmの褐色・灰色の砂粒を含む		
	238	土師器	甕				ケズリ後ナデ	ケズリ後ナデ	灰黄褐色	鈍い橙・橙	石灰・雲母をわずかに、新褐色・黒灰の砂粒を多く含む	煤付着	
	239	土師器	甕						鈍い橙	橙	微細～2mmの赤褐色の砂粒を含む		
	240	土師器	甕				ナデ	ナデ	鈍い橙・赤褐色	鈍い橙	微細～5mmの褐色の砂・粗砂を含む		
	241	土師器	坏	14.7	6.4		ミガキ ユビオサエ ナデ	ナデ・ミガキ	橙	橙・鈍い橙	0.5～4mmの黒・褐色の粗砂を含む		61
	242	土師器	坏	(14.1)			ミガキ	ミガキ	橙・黒	橙・赤褐色・黒	5mm以下の白・黒・褐色・灰の砂・粗砂を含む	赤影?	
	243	土師器	坏						橙	橙	1mm以下の白・黒・褐色の粗砂を含む		
	244	土師器	坏				ケズリ後ナデ	ケズリ後ナデ	橙	橙	2mm以下の黒い砂粒をわずかに含む		
	245	土師器	坏				ケズリ後ナデ	ケズリ後ナデ	橙	鈍い橙	1mm以下の黒・褐色の粗砂を含む		
4号溝状遺構	246	土師器	甕				ユビオサエ ナデ	ユビオサエ ナデ	鈍い黄褐色	鈍い黄褐色	微細～2.5mmの褐色の砂粒を含む		64
	247	土師器	甕			(5.5)	ナデ	ユビオサエ ナデ	鈍い黄褐色	灰黄褐色	微細～2mmの黒・褐色の砂粒を含む		
	248	土師器	坏	(22.2)	(5.94)		ケズリ後ミガキ	ユビオサエ ミガキ	鈍い橙	橙	褐色の砂・微細砂を多く含む		
	249	土師器	坏	18.6			ミガキ	ミガキ	橙・灰褐色	橙・灰褐色	1mm以下の白・黒・褐色の微細砂を含む	煤付着	
	250	土師器	坏	(12.7)	3.4	5.5	ナデ	ナデ	橙・明褐色	赤褐色	0.5～5mmの白・黒・粗砂を多く含む		64
	251	土師器	坏						橙	橙	灰白・褐色の微細砂を含む		
	252	土師器	坏				ミガキ		橙	橙	1mm以下の白・黒・透明・褐色の微細砂を多く含む		
253	土師器	坏				ミガキ		橙・赤褐色	橙・赤褐色	1mm以下の白・透明・褐色・灰の微細砂を多く含む			

出土土器観察表 (7)

()内は測定値

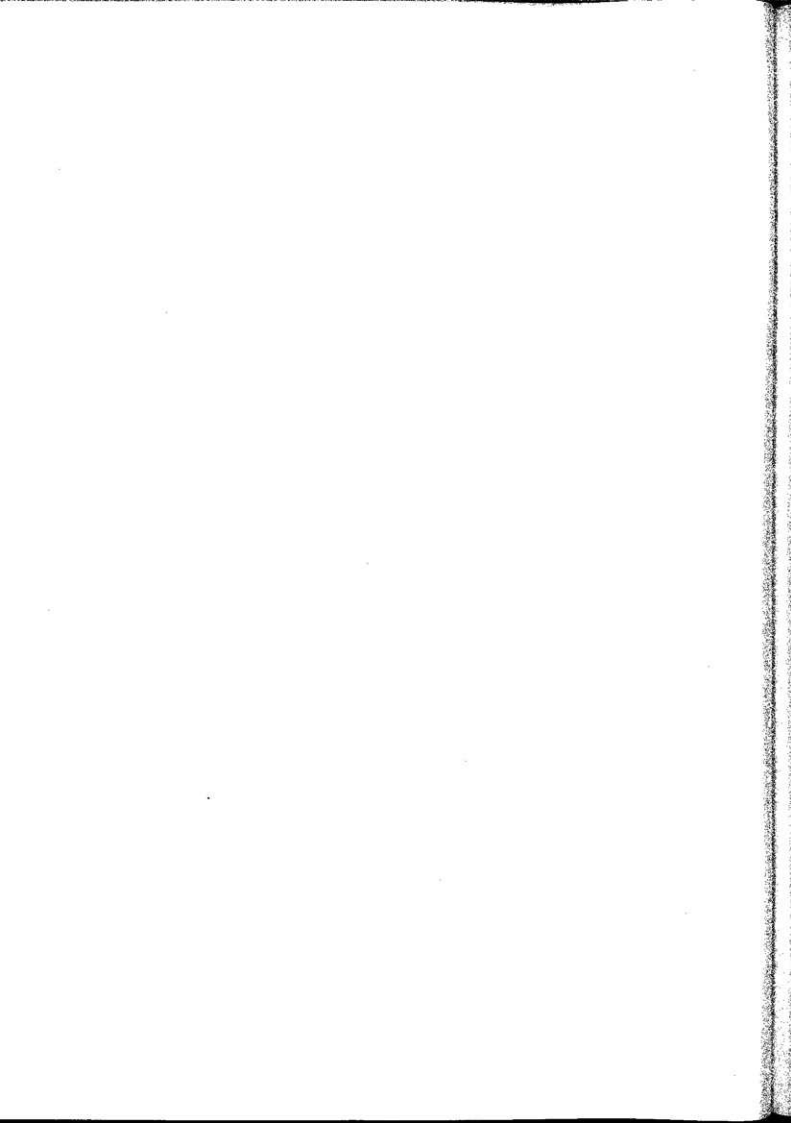
遺構名	遺物番号	器種	図柄	法口()は推定 cm			測定		色調		胎土	備考	写真ページ
				口径	器高	底径	外面	内面	内面	外面			
4号溝状遺構	254	土師器	山+7	3.7	4.45	(2.8)	ユビオサエナデ	ユビオサエナデ	明黄褐色	明黄褐色	黄褐色~3mmの赤褐色の砂粒を含む		64
	255	須恵器	坏蓋				ナデ	ナデ	灰	灰	2mm以下の白・灰の砂粒・微細粒を含む		
	256	須恵器	碗				ナデ	ナデ	灰	灰	3mm以下の白・灰の砂粒をわずかに含む	胸状把手あり	64
7号溝状遺構	258	磁器	徳利						灰白 明オリブ灰	明オリブ灰 緑黒	灰白・精良		
8号溝状遺構	260	磁器	碗			4.4			白	白	白色精良		65
	261	陶器	香炉						鈍い橙	オリブ灰	やや精良		
9号溝状遺構	262	土師器	鉢				ナデ		明赤褐色	明赤褐色	暗赤灰の砂粒を含む	布痕	
	263	須恵器	坏	16	5.75	11	ナデ	ナデ	灰	灰	0.5~2mmの白・黒・褐色の砂粒・微砂粒をわずかに含む	結	
	264	須恵器	坏				ナデ	ナデ	灰	灰	やや砂質	高台付	
	265	磁器	碗	(13.4)					オリブ黄	オリブ黄	オリブ黄・精良		
	266	磁器	碗			(5.5)			灰白	灰白	やや精良		65
	267	磁器	碗						明緑灰	明緑灰	やや精良		65

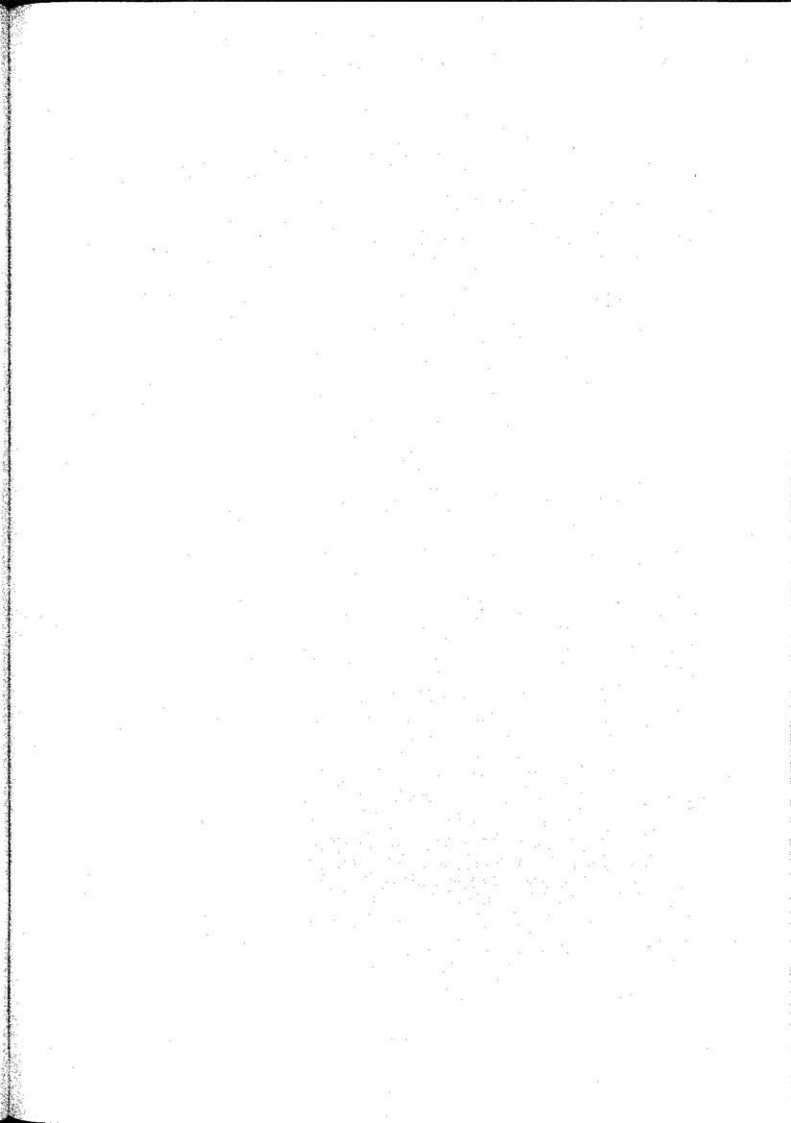
出土石器観察表

出土遺構	遺物番号	器種	石材	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量(g)	備考	写真ページ
1号住居	25	砥石・敲き石	砂岩	11.8	3.9	3.8	240.00		
	26	敲き石		7.9	7.9	4.8	410.00		65
2号住居	43	支脚	軽石	17.7	17.7	7.1	240.00		62
	44	砥石	軽石	8.0	8.0	6.0	30.91		
4号住居	65	支脚	軽石	14.6	14.6	5.7	150.00		63
	66	支脚	軽石	12.7	12.7	5.7	90.00		63
5号住居	75	砥石	軽石	7.9	7.9	4.4	33.00		65
	76	砥石	軽石	23.5	23.5	9.6	925.00		
6号住居	89	砥石	軽石	15.8	15.8	6.0	215.00		
10号住居	167	敲き石		10.5	10.5	5.0	350.00		65
	168	敲き石		7.5	7.5	4.7	270.00		65
13号住居	190	玉	軽石	3.4	3.4	2.9	10.56		

出土鉄器観察表

出土遺構	遺物番号	器種	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量(g)	備考	写真ページ
1号住居	27		1.6	0.6	0.60	0.41		
	28		5.4	0.6	0.25	4.29		65
	29		5.5	0.6	0.40	4.15		65
2号住居	45	鎌	16.0	2.0	0.35	45.95		65
	46		7.4	0.9	0.80	10.56		65
4号溝状遺構	257	刀子	10.6	1.5	0.60	20.74		65
7号溝状遺構	259					3.34	寛永通宝	





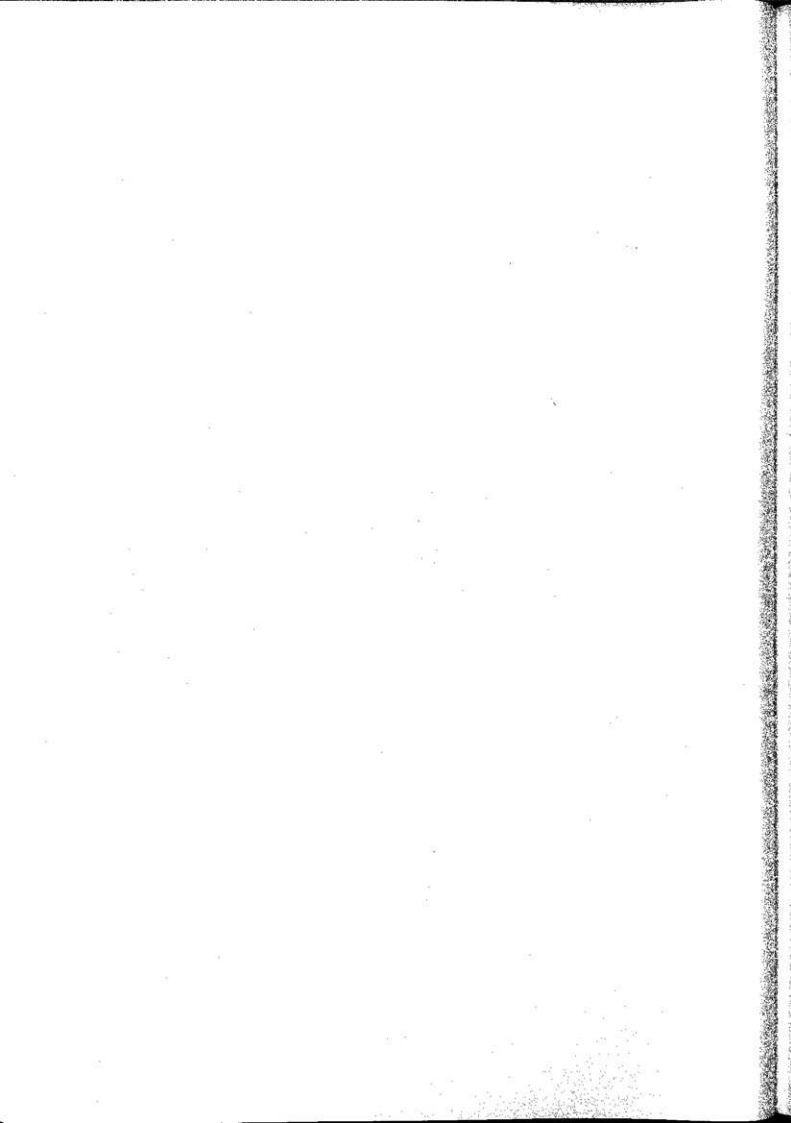




fig1. 1号住居完掘



fig2. 1号住居遺物出土状況 1



fig3. 1号住居遺物出土状況 2



fig4. 2号住居完掘



fig5. 2号住居壁



fig6. 2号住居埋壙

图版 2



fig7. 3号住居完掘



fig8. 3号住居壙

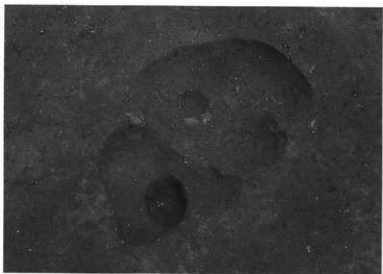


fig9. 3号住居埋壙



fig10. 4号住居完掘



fig11. 4号住居竈

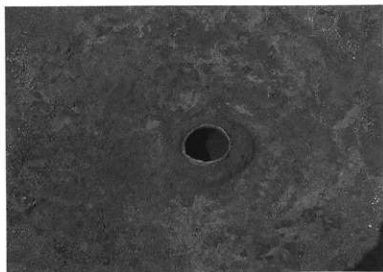


fig12. 4号住居埋竈



fig13. 5号住居完掘



fig14. 5号住居遺物出土状況



fig15. 6号住居遺物出土状況



fig16. 6号住居完掘



fig17. 6号住居遺物出土状況 1



fig18. 6号住居遺物出土状況 2



fig19. 7号住居完掘



fig20. 7号住居竈



fig21. 7号住居遺物出土状況



fig22. 8号住居完掘



fig23. 8号住居遺物出土状況



fig24. 8号住居壁



fig25. 9号・10号住居完掘



fig26. 9号住居遺物出土状況



fig27. 9号・10号住居遺物出土状況



fig28. 10号住居遺物出土状況 1



fig29. 10号住居遺物出土状況 2



fig30. 10号住居遺物出土状況 3



fig31. 11号住居完掘



fig32. 11号住居遺物出土状況 1



fig33. 11号住居遺物出土状況 2



fig34. 12号住居完掘



fig35. 12号住居遺物出土状況



fig36. 12号住居埋塞



fig37. 13号住居完掘



fig38. 13号住居遺物出土狀況 1



fig39. 13号住居遺物出土狀況 2



fig40. 14号住居完掘



fig41. 15号住居完掘

fig42. 15号住居竈 1



fig43. 15号住居竈 2



fig44. 16号住居竈掘



fig45. 17号住居完掘



fig46. 18号住居完掘

fig47. 1号土坑完掘



fig48. 2号土坑遺物出土状況



fig49. 3号土坑完掘





fig50. 3号溝状遺構



fig51. 4号溝状遺構



fig52. 5号溝状遺構



fig53. 7号溝状遺構



fig54. 9号溝状遺構
(北から)



fig55. 9号溝状遺構
(南から)